

II 調査結果の解説

1 生活意識 (問1～問5)

- 問1 「昨年と比べた暮らし向き」、問2 「生活程度」、問3 「生活全体の満足度」は、昭和56年度から毎年度実施しています。
- 問1－1 「暮らし向きが苦しくなった理由」は、平成20年度から実施しており、今回が14回目となります。
- 問4 「定住意向」は、平成6年度以降は3年ごとに実施しています。
- 問5 「埼玉県に魅力を感じるか」と問5－1「埼玉県で魅力を感じるもの」は、今回が4回目となります。
- 平成27年度までは、満20歳以上の方を調査対象として実施しており、平成28年度以降は満18歳以上の方を対象に実施しています。
- 調査手法は、令和元年度までは「個別面接聴取法」で実施していましたが、令和2年度から「郵送法（郵送配布、郵送回収・インターネット回収併用）」で実施しています。

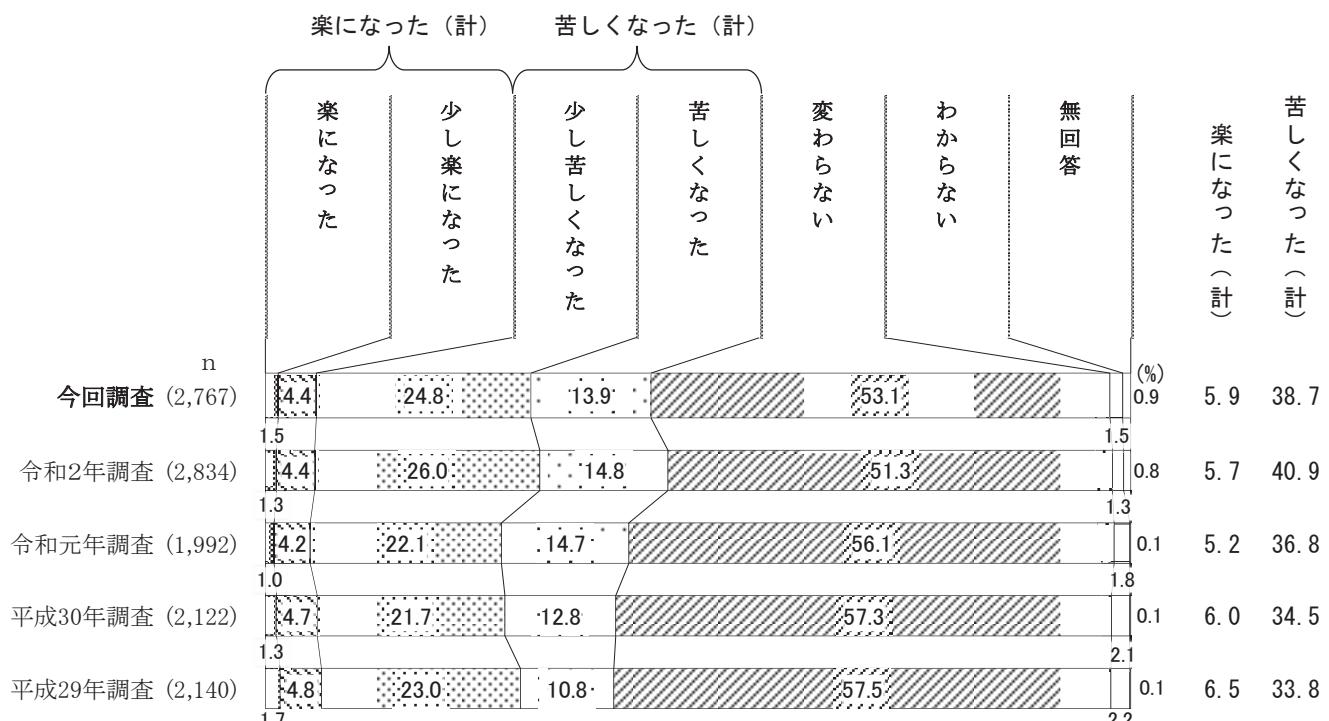
1. 生活意識

(1) 昨年と比べた暮らし向き

◇「変わらない」53.1%、『苦しくなった（計）』38.7%、『楽になった（計）』5.9%

問1 最初に、あなたの生活意識についておたずねします。

お宅の暮らし向きは、昨年の今ごろと比べて楽になりましたか、それとも、苦しくなりましたか。（○は1つだけ）



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

暮らし向きが「楽になった」(1.5%)と「少し樂になった」(4.4%)を合わせた『樂になった（計）』は5.9%となっている。一方で、「苦しくなつた」(13.9%)と「少し苦しくなつた」(24.8%)を合わせた『苦しくなつた（計）』(38.7%)は4割弱となっている。「変わらない」(53.1%)は5割強で、『苦しくなつた（計）』を14.4ポイント上回っている。

【過去調査との比較】

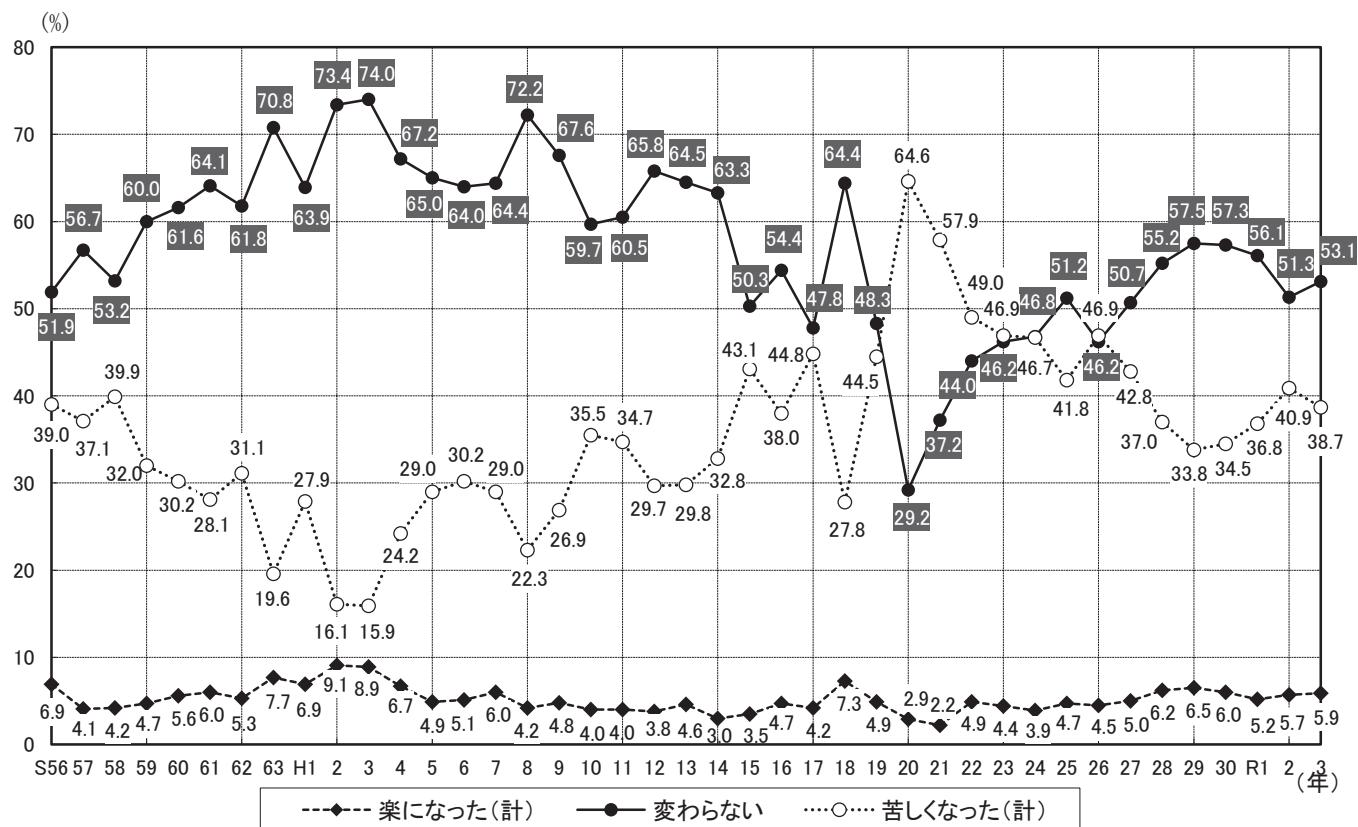
『苦しくなつた（計）』は令和元年調査までは3割台で推移しており、令和2年調査で4割を超えたが、今回調査(38.7%)では再び3割台後半に下がった。

【経年比較】

この調査を開始した昭和56年以降の推移をみると、『苦しくなった（計）』は、最も高かった平成20年（64.6%）を境におおむね減少傾向が続き、平成30年調査から再び増加傾向にあったが、今回調査では減少した。「変わらない」と『苦しくなった（計）』を比較すると、『苦しくなった（計）』は平成27年調査から7年連続で「変わらない」を下回っている。

『楽になった（計）』は平成2年が9.1%で最も高く、平成21年が2.2%で最も低くなっている。調査開始から40年間、この範囲内で推移している。

○昨年と比べた暮らし向き・昭和56年以降の推移



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

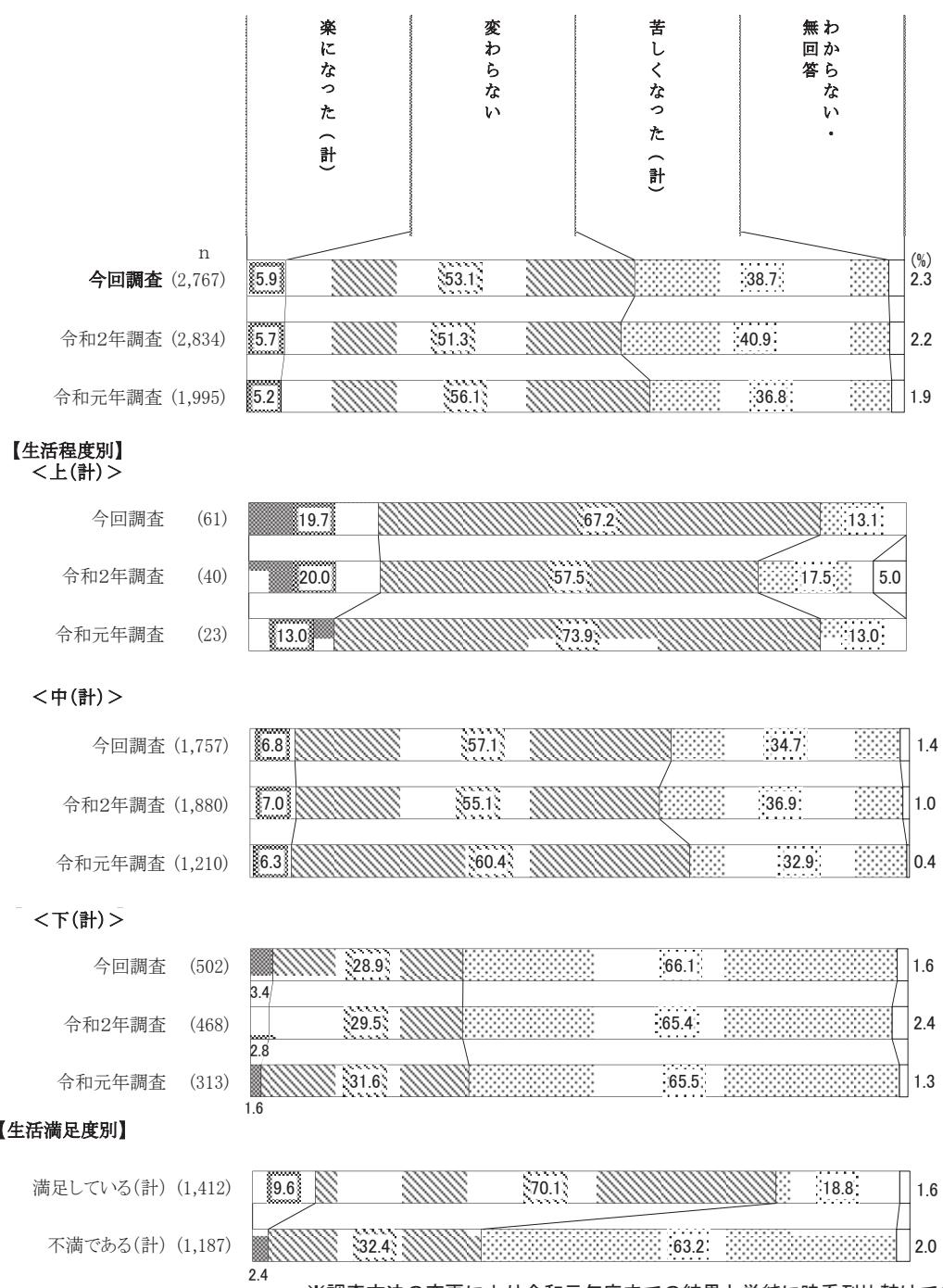
【生活程度別】

問2の生活程度別にみると、昨年と比べた暮らし向きが『苦しくなった（計）』は下（計）で最も高く66.1%、中（計）で34.7%、上（計）で13.1%と差がみられる。

【生活満足度別】

問3の生活全体の満足度別にみると、昨年と比べた暮らし向きが『苦しくなった（計）』は、満足している（計）(18.8%)が2割弱であるのに対して、不満である（計）(63.3%)では6割強と、大きく差がある。一方で、「変わらない」は、満足している（計）で70.1%と不満である（計）の32.4%を大きく上回っている。

○昨年と比べた暮らし向き・生活程度別／生活満足度別



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

【属性別比較】

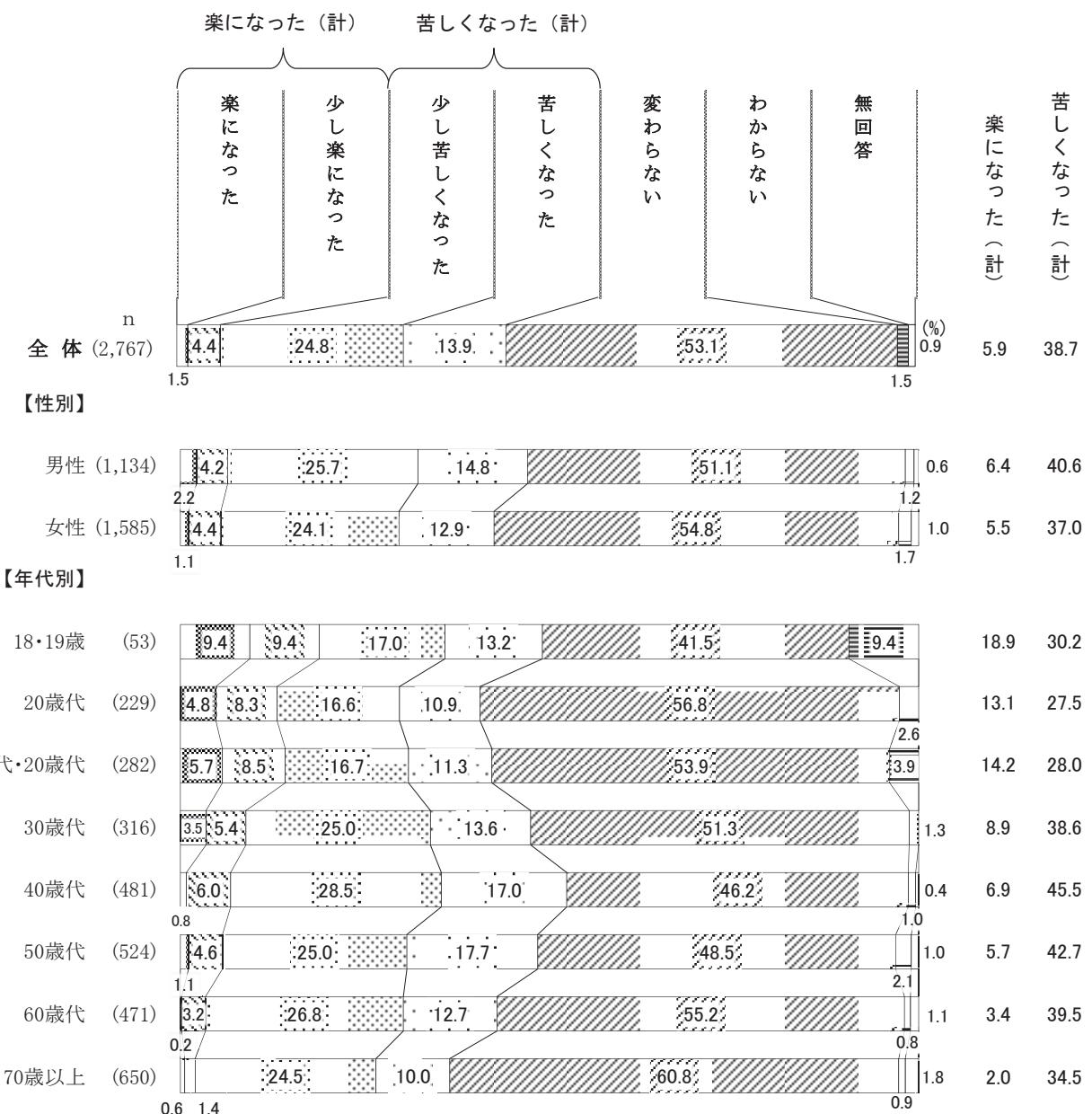
① 性別

『苦しくなった（計）』は男性（40.6%）の方が女性（37.0%）よりも3.6ポイント高くなっている。

② 年代別

『苦しくなった（計）』は40歳代（45.5%）で4割台半ばと最も高くなっている。

○昨年と比べた暮らし向き・性別／年代別



③ 地域別

『苦しくなった（計）』は南部地域（44.8%）で4割台半ばと最も高くなっている。一方で、「変わらない」は北部地域（59.1%）で約6割と最も高く、『楽になった（計）』は秩父地域（10.0%）で最も高くなっている。

④ 性・年代別

『苦しくなった（計）』は男性40歳代（52.6%）で5割強と最も高くなっている。一方で、『楽になった（計）』は男性10歳代・20歳代（17.6%）で1割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑤ 職業別

『苦しくなった（計）』は自営業・家族従業（計）（46.7%）で4割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『苦しくなった（計）』は家族成長後期（47.0%）で4割台半ばを超えて最も高くなっている。

○昨年と比べた暮らし向き・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

(%)

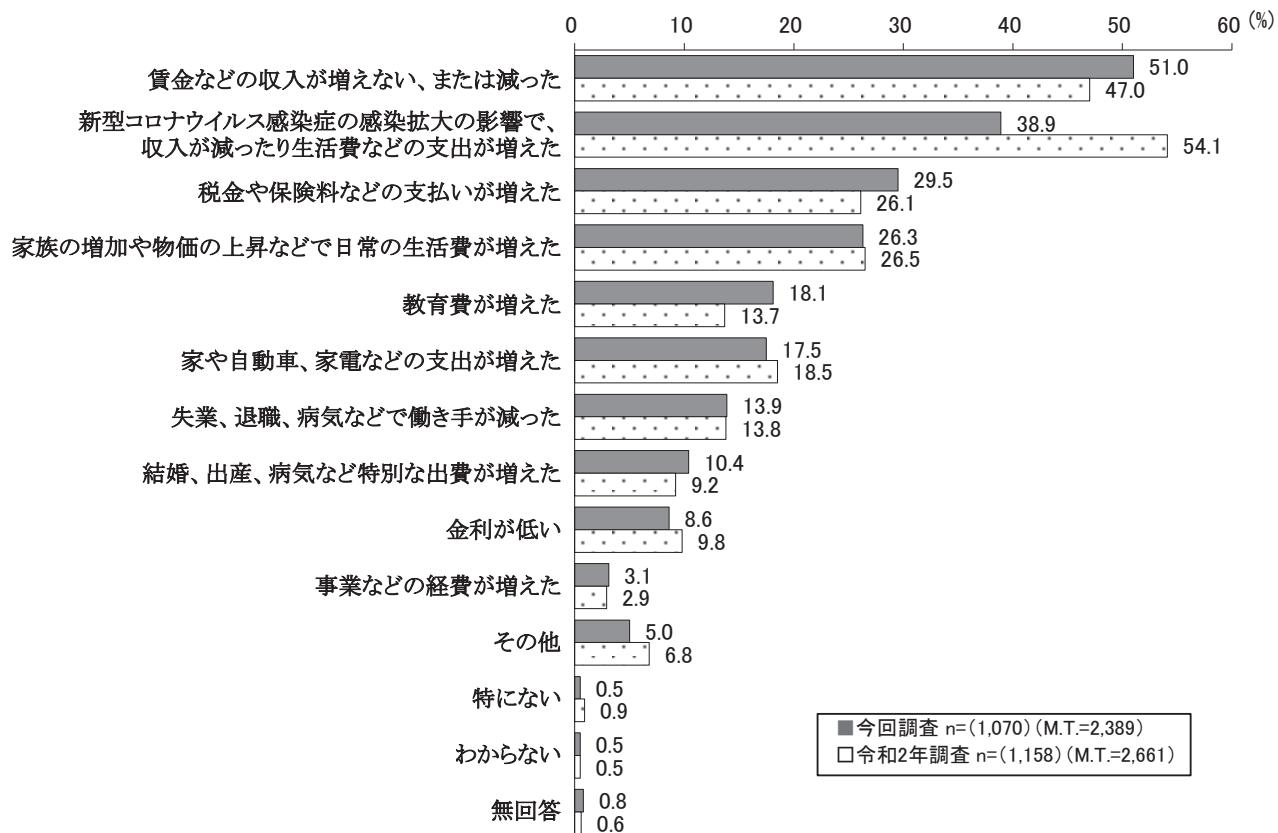
	調査数 n	楽になつた	少し樂になつた	少し苦しくなつた	苦しくなつた	変わらない	わからぬ	無回答	樂になつた（計）	苦しくなつた（計）
全 体	2,767	1.5	4.4	24.8	13.9	53.1	1.5	0.9	5.9	38.7
地域別										
南部地域	268	1.5	4.5	29.5	15.3	46.6	1.1	1.5	6.0	44.8
南西部地域	259	1.9	4.6	27.0	14.3	49.8	1.5	0.8	6.6	41.3
東部地域	410	2.4	4.6	23.2	17.3	51.0	0.7	0.7	7.1	40.5
さいたま地域	482	1.9	5.0	25.3	12.0	53.9	1.7	0.2	6.8	37.3
県央地域	218	1.4	4.6	22.9	13.3	55.0	1.4	1.4	6.0	36.2
川越比企地域	293	0.7	4.1	24.6	10.2	57.0	2.7	0.7	4.8	34.8
西部地域	299	1.3	4.0	20.7	14.0	56.2	2.3	1.3	5.4	34.8
利根地域	245	0.8	2.4	29.4	13.5	51.8	1.2	0.8	3.3	42.9
北部地域	203	1.0	3.9	20.7	13.8	59.1	-	1.5	4.9	34.5
秩父地域	40	2.5	7.5	30.0	12.5	45.0	2.5	-	10.0	42.5
性・年代別										
男性／18・19歳	28	17.9	7.1	10.7	10.7	46.4	7.1	-	25.0	21.4
20歳代	91	7.7	7.7	16.5	11.0	53.8	3.3	-	15.4	27.5
【再掲】10歳代・20歳代	119	10.1	7.6	15.1	10.9	52.1	4.2	-	17.6	26.1
30歳代	111	5.4	6.3	23.4	14.4	48.6	1.8	-	11.7	37.8
40歳代	173	0.6	6.9	32.9	19.7	39.3	0.6	-	7.5	52.6
50歳代	226	1.8	4.9	27.0	20.4	43.8	1.3	0.9	6.6	47.3
60歳代	215	-	2.3	25.6	15.3	55.3	0.9	0.5	2.3	40.9
70歳以上	286	0.7	1.4	26.2	9.1	60.8	0.3	1.4	2.1	35.3
女性／18・19歳	25	-	12.0	24.0	16.0	36.0	12.0	-	12.0	40.0
20歳代	137	2.9	8.8	16.8	10.2	59.1	2.2	-	11.7	27.0
【再掲】10歳代・20歳代	162	2.5	9.3	17.9	11.1	55.6	3.7	-	11.7	29.0
30歳代	205	2.4	4.9	25.9	13.2	52.7	1.0	-	7.3	39.0
40歳代	308	1.0	5.5	26.0	15.6	50.0	1.3	0.6	6.5	41.6
50歳代	298	0.7	4.4	23.5	15.8	52.0	2.7	1.0	5.0	39.3
60歳代	255	0.4	3.9	27.5	10.6	55.3	0.8	1.6	4.3	38.0
70歳以上	352	0.6	1.4	21.9	10.8	61.9	1.4	2.0	2.0	32.7
職業別										
自営業・家族従業（計）	242	0.8	3.3	25.6	21.1	48.8	0.4	-	4.1	46.7
雇用者（計）	1,461	1.8	5.6	24.6	15.1	51.1	1.3	0.5	7.5	39.7
無職（計）	1,006	1.3	2.8	25.0	10.0	57.2	2.1	1.6	4.1	35.1
ライフステージ別										
独身期	327	4.3	8.9	18.3	12.5	52.6	3.4	-	13.1	30.9
家族形成期	215	4.7	3.7	27.9	12.1	50.7	0.9	-	8.4	40.0
家族成長前期	245	1.2	6.1	26.5	15.5	46.9	2.0	1.6	7.3	42.0
家族成長後期	232	1.3	4.7	28.0	19.0	46.6	0.4	-	6.0	47.0
家族成熟期	463	0.4	3.9	28.5	14.3	51.0	1.3	0.6	4.3	42.8
高齢期	609	0.5	2.5	22.8	8.2	64.2	0.5	1.3	3.0	31.0
その他	676	1.0	3.8	24.4	17.6	49.9	1.9	1.3	4.9	42.0

(1-1) 暮らし向きが苦しくなった理由

◇「賃金などの収入が増えない、または減った」が51.0%と最も高い

(問1で「3. 少し苦しくなった」または「4. 苦しくなった」とお答えの方にお伺いします。)

問1-1 その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)



暮らし向きが苦しくなった理由は、「賃金などの収入が増えない、または減った」(51.0%) が5割強で最も高く、次いで「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、収入が減ったり生活費などの支出が増えた」(38.9%) が4割弱、「税金や保険料などの支払いが増えた」(29.5%)、「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」(26.3%)、「教育費が増えた」(18.1%) などとなっている。

【過去調査との比較】

「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、収入が減ったり生活費などの支出が増えた」は令和2年調査(54.1%)では5割台半ばで最も高かったが15.2ポイント減少し、「賃金などの収入が増えない、または減った」に次いで2位となった。

【属性別比較】

① 地域別

「賃金などの収入が増えない、または減った」はさいたま地域（56.1%）で5割台半ばを超えて最も高く、県央地域（44.3%）で4割台半ばと最も低くなっている。「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、収入が減ったり生活費などの支出が増えた」は南西部地域（48.6%）で5割弱と最も高く、最も低いさいたま地域（33.3%）で3割強となっている。「税金や保険料などの支払いが増えた」は川越比企地域（35.3%）が3割台半ばで最も高く、県央地域（25.3%）で2割台半ばと最も低くなっている。

※秩父地域（n=17）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

② 性別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は男性（57.0%）の方が女性（46.8%）よりも10.2ポイント高くなっている。一方で、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、収入が減ったり生活費などの支出が増えた」は女性（41.7%）の方が男性（36.5%）よりも5.2ポイント高くなっている。

③ 年代別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は40歳代（59.8%）で約6割と最も高く、次いで50歳代（58.5%）で6割弱となっている。「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、収入が減ったり生活費などの支出が増えた」も40歳代（45.7%）で4割台半ばと最も高くなっている。一方で「税金や保険料などの支払いが増えた」では40歳代（22.4%）が最も低くなっている、70歳以上（38.8%）で最も高くなっている。

④ 性・年代別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は男性30～60歳代で6割台と高く、特に男性40歳代（68.1%）で7割弱と最も高くなっている。「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、収入が減ったり生活費などの支出が増えた」は女性10歳代・20歳代（51.1%）で5割強と最も高くなっている。また、「税金や保険料などの支払いが増えた」は男性70歳以上（41.6%）が4割強で最も高く、女性40歳代（18.8%）で最も低くなっている。

⑤ 職業別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は、雇用者（計）（62.6%）が6割強で最も高く、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、収入が減ったり生活費などの支出が増えた」は、自営業・家族従業（計）（60.2%）で6割を超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は家族成長前期（60.2%）で6割を超えて最も高くなっている。また、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、収入が減ったり生活費などの支出が増えた」でも、家族成長前期（47.6%）で4割台後半と最も高くなっている。また、「税金や保険料などの支払いが増えた」は高齢期（36.5%）で3割台後半と最も高くなっている。

【生活程度別】

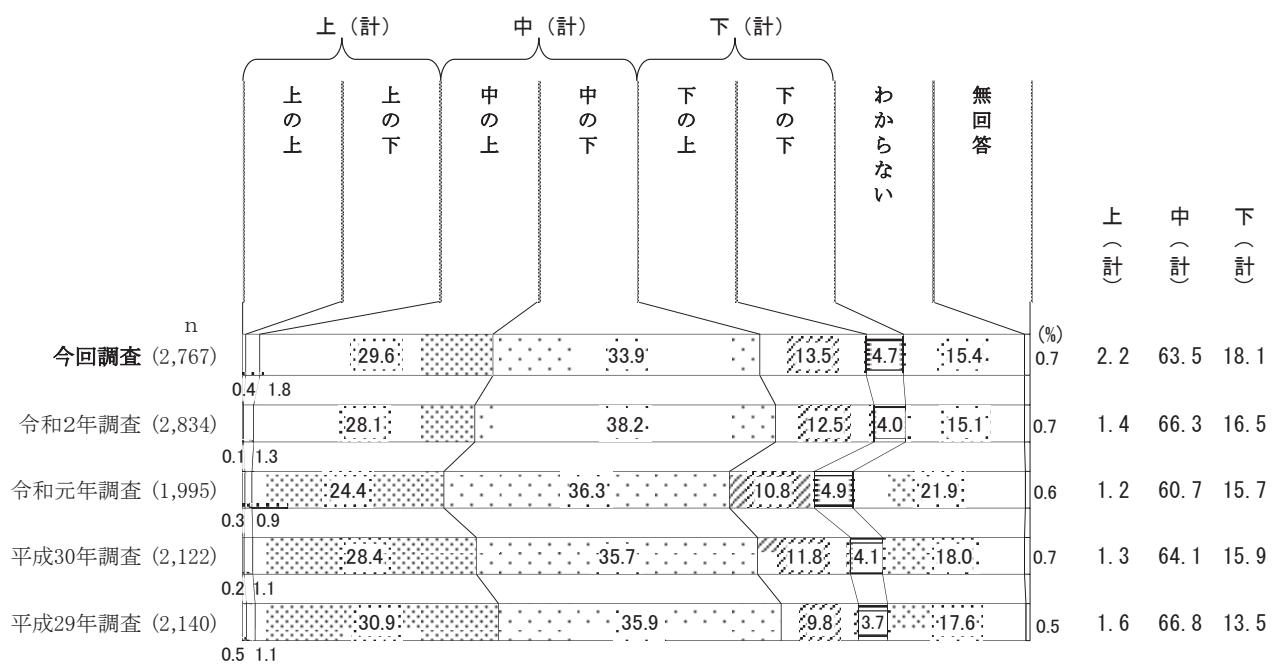
問2の生活程度別にみると、「賃金などの収入が増えない、または減った」、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、収入が減ったり生活費などの支出が増えた」、「税金や保険料などの支払いが増えた」はいずれも下（計）の方が中（計）より高くなっている。

※上（計）（n=8）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

(2) 生活程度

◆『中(計)』が63.5%、一方『下(計)』は18.1%

問2 お宅の現在の生活程度は、世間一般からみて、次の中のどれに属すると思いますか。
(○は1つだけ)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

世間一般からみた生活程度は、「中の下」(33.9%) が3割強で最も高く、次いで「中の上」(29.6%) となっている。両者を合わせた『中(計)』(63.5%) は6割強となっている。同様に「下の上」(13.5%) と「下の下」(4.7%) を合わせた『下(計)』(18.1%) は2割弱、「上の上」(0.4%) と「上の下」(1.8%) を合わせた『上(計)』は2.2%となっている。

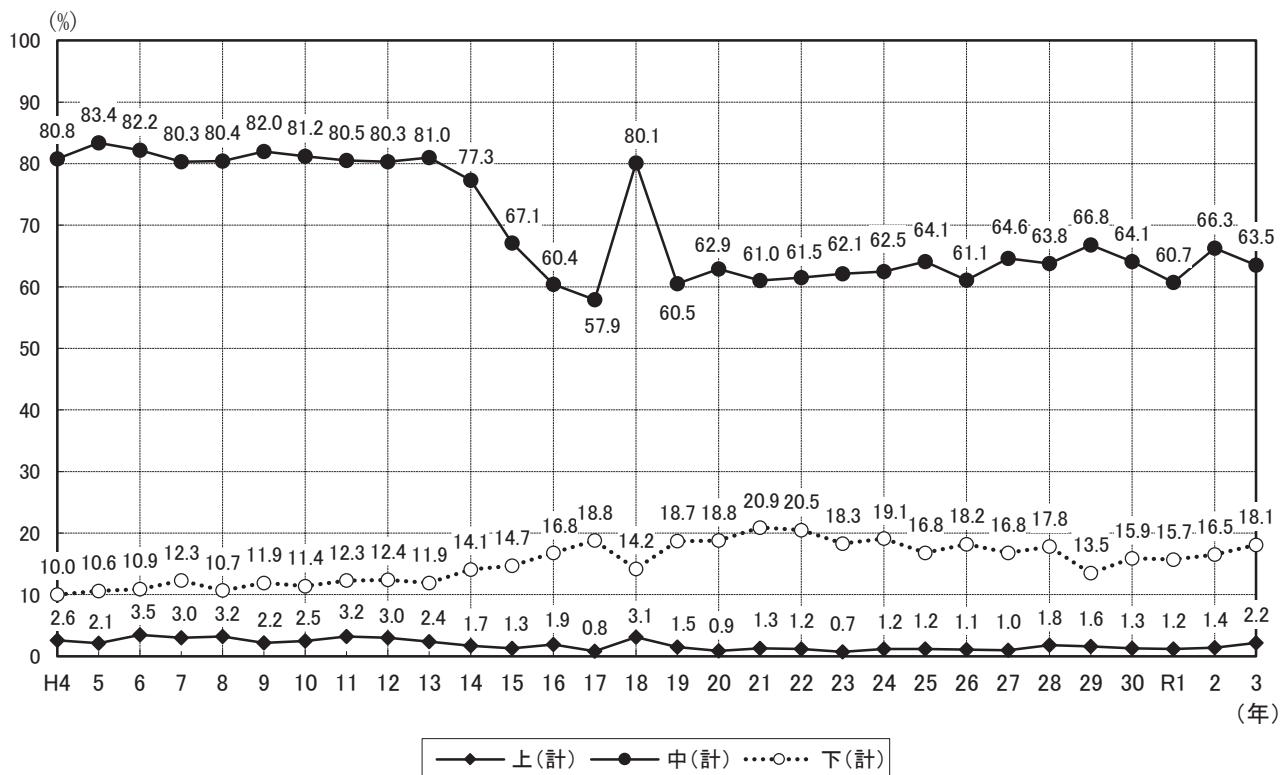
【過去調査との比較】

令和2年調査と比べて、『中(計)』は2.8ポイント減少、『下(計)』は1.6ポイント増加となっている。

【経年比較】

平成19年以降、『中（計）』は6割台で増減しながら推移しており、今回調査では前回調査から減少した。また、『下（計）』は平成29年調査以降、おおむね増加傾向となっている。

○生活程度・平成4年以降の推移



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

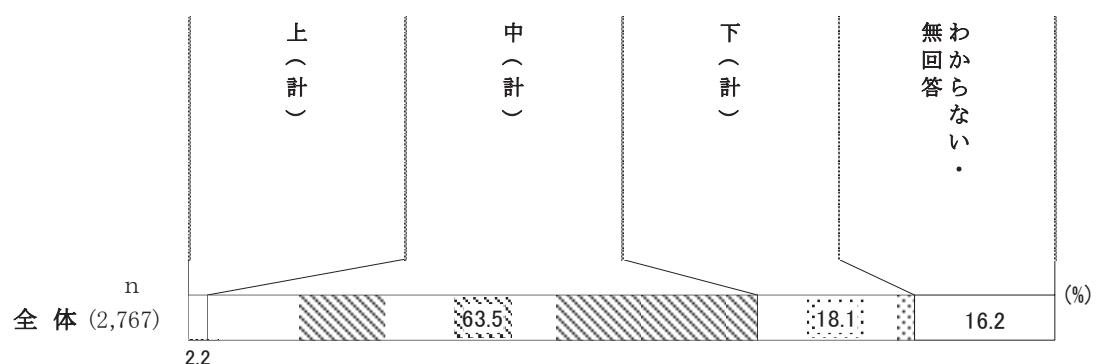
【昨年と比べた暮らし向き別】

問1の昨年と比べた暮らし向き別にみると、いずれの層でも生活程度を『中（計）』と回答した人が半数以上となっているが、楽になった（計）（72.6%）では7割強と最も高く、次いで変わらない（68.4%）、苦しくなった（計）（57.0%）となっており、『中（計）』の割合に大きく差がある。また、『下（計）』は苦しくなった（計）（31.0%）で最も高くなっている。

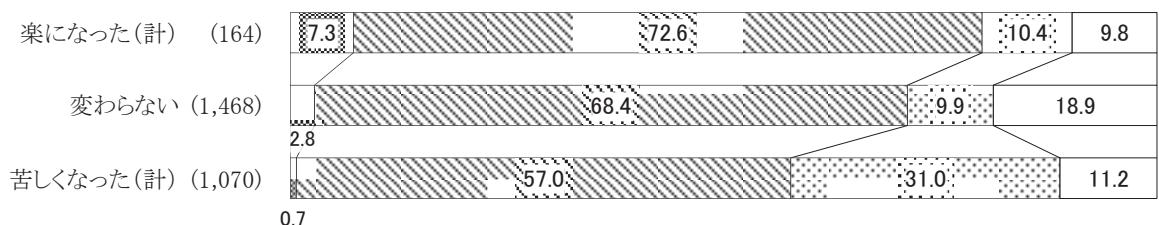
【生活満足度別】

問3の生活全体の満足度別にみると、生活程度を『中（計）』と回答した割合は、満足している（計）（75.9%）が、不満である（計）（54.1%）より21.8ポイント高く、一方で『下（計）』と回答した割合は不満である（計）（32.5%）が、満足している（計）（5.6%）より26.9ポイント高くなっている。

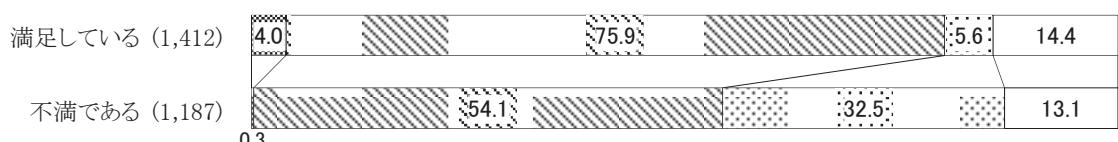
○生活程度・昨年と比べた暮らし向き別／生活満足度別



【昨年と比べた暮らし向き別】



【生活満足度別】



【属性別比較】

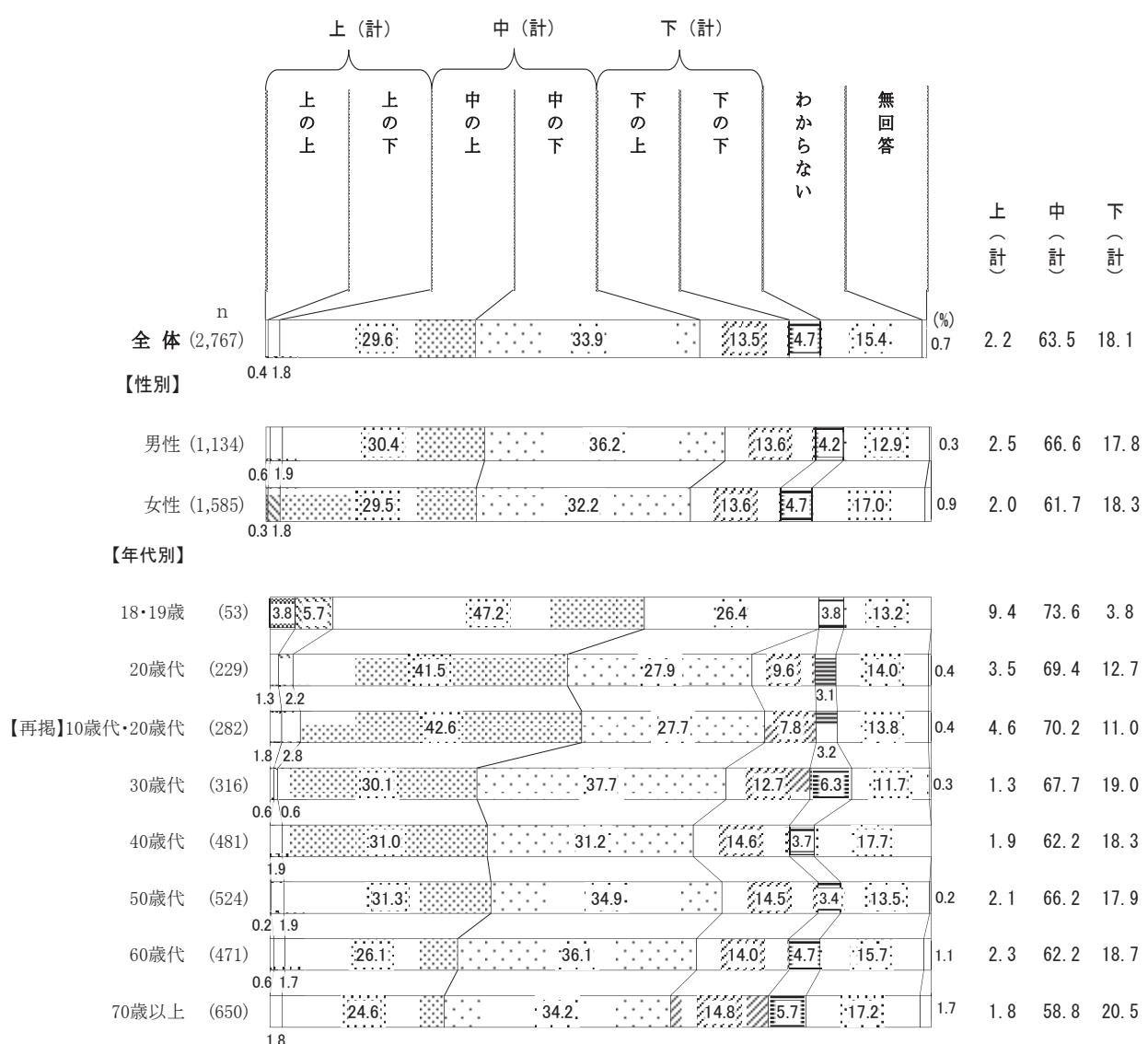
① 性別

『中（計）』は男性（66.6%）の方が女性（61.7%）よりも4.9ポイント高くなっている。

② 年代別

『中（計）』は10歳代・20歳代（70.2%）が最も高くなっている。一方で『下（計）』は70歳以上（20.5%）で2割を超えて最も高く、『上（計）』は10歳代・20歳代（4.6%）で最も高くなっている。

○生活程度・性別／年代別



③ 地域別

『中（計）』は秩父地域（45.0%）を除いたすべての地域で6割台となっており、北部地域（67.0%）が6割台半ばを超えて最も高くなっている。一方で、『下（計）』は秩父地域（30.0%）が3割と最も高く、『上（計）』は東部地域（3.9%）で最も高くなっている。

④ 性・年代別

『中（計）』は男性30歳代（74.8%）で7割台半ばと最も高くなっている。一方で、『下（計）』は女性60歳以上（21.6%）が2割強で最も高く、『上（計）』は男性10歳代・20歳代（5.0%）で最も高くなっている。

⑤ 職業別

『中（計）』は自営業・家族従業（計）（66.9%）が最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『中（計）』は家族形成期（76.7%）で7割台半ばを超えて最も高く、『下（計）』はその他（26.2%）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。

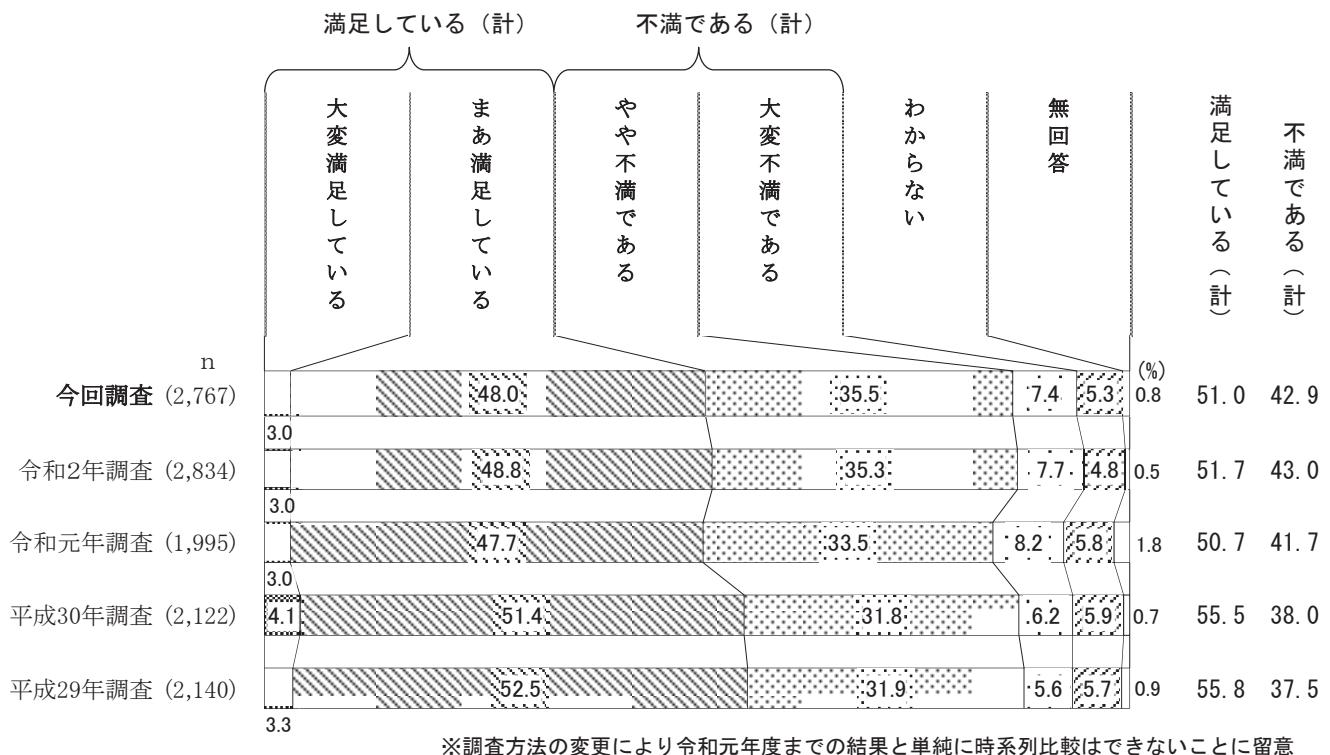
○生活程度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	上の上	上の下	中の上	中の下	下の上	下の下	わからない	無回答	上（計）	中（計）	下（計）
全 体	2,767	0.4	1.8	29.6	33.9	13.5	4.7	15.4	0.7	2.2	63.5	18.1
地域別										0.4	65.7	19.8
南部地域	268	-	0.4	28.7	36.9	15.3	4.5	12.7	1.5	1.2	60.2	18.5
南西部地域	259	0.4	0.8	30.1	30.1	12.7	5.8	19.3	0.8	3.9	63.7	17.6
東部地域	410	0.7	3.2	27.8	35.9	12.2	5.4	14.4	0.5	3.5	64.9	17.0
さいたま地域	482	1.2	2.3	32.4	32.6	13.1	3.9	14.1	0.4	0.9	66.1	15.1
県央地域	218	0.5	0.5	28.9	37.2	11.9	3.2	17.0	0.9	2.0	62.5	16.7
川越比企地域	293	-	2.0	31.4	31.1	12.6	4.1	17.7	1.0	1.7	61.2	20.1
西部地域	299	-	1.7	29.8	31.4	15.1	5.0	16.1	1.0	0.4	65.3	19.2
利根地域	245	-	0.4	29.4	35.9	14.3	4.9	15.1	-	3.4	67.0	17.2
北部地域	203	-	3.4	28.1	38.9	14.3	3.0	11.3	1.0	2.5	45.0	30.0
秩父地域	40	-	2.5	27.5	17.5	25.0	5.0	22.5	-			
性・年代別										10.7	78.6	3.6
男性／18・19歳	28	3.6	7.1	53.6	25.0	-	3.6	7.1	-	3.3	65.9	16.5
20歳代	91	2.2	1.1	36.3	29.7	14.3	2.2	14.3	-	5.0	68.9	13.4
【再掲】10歳代・20歳代	119	2.5	2.5	40.3	28.6	10.9	2.5	12.6	-	2.7	74.8	15.3
30歳代	111	0.9	1.8	32.4	42.3	10.8	4.5	7.2	-	1.7	59.0	21.4
40歳代	173	-	1.7	32.4	26.6	15.6	5.8	17.9	-	2.2	69.9	17.7
50歳代	226	0.4	1.8	31.9	38.1	14.6	3.1	10.2	-	2.8	68.8	15.3
60歳代	215	0.9	1.9	27.0	41.9	11.6	3.7	13.0	-	1.7	62.9	20.3
70歳以上	286	-	1.7	25.5	37.4	15.0	5.2	14.0	1.0	8.0	68.0	4.0
女性／18・19歳	25	4.0	4.0	40.0	28.0	-	4.0	20.0	-	3.6	71.5	10.2
20歳代	137	0.7	2.9	45.3	26.3	6.6	3.6	13.9	0.7	4.3	71.0	9.3
【再掲】10歳代・20歳代	162	1.2	3.1	44.4	26.5	5.6	3.7	14.8	0.6	0.5	63.9	21.0
30歳代	205	0.5	-	28.8	35.1	13.7	7.3	14.1	0.5	1.9	64.0	16.6
40歳代	308	-	1.9	30.2	33.8	14.0	2.6	17.5	-	2.0	63.4	18.1
50歳代	298	-	2.0	30.9	32.6	14.4	3.7	16.1	0.3	2.0	56.5	21.6
60歳代	255	0.4	1.6	25.5	31.0	16.1	5.5	18.0	2.0	2.0	56.3	20.5
70歳以上	352	-	2.0	24.4	31.8	14.5	6.0	19.3	2.0			
職業別										2.1	66.9	18.6
自営業・家族従業（計）	242	0.4	1.7	29.8	37.2	14.0	4.5	11.6	0.8	2.0	66.1	17.2
雇用者（計）	1,461	0.3	1.7	30.7	35.4	13.6	3.7	14.5	0.2	2.5	59.6	19.4
無職（計）	1,006	0.6	1.9	28.5	31.1	13.7	5.7	17.1	1.4			
ライフステージ別										3.4	67.3	15.9
独身期	327	0.9	2.4	38.8	28.4	11.6	4.3	13.1	0.3	2.8	76.7	10.7
家族形成期	215	1.4	1.4	35.3	41.4	6.0	4.7	9.3	0.5	1.6	66.1	14.3
家族成長前期	245	-	1.6	31.4	34.7	11.4	2.9	18.0	-	3.4	69.4	13.4
家族成長後期	232	-	3.4	38.4	31.0	9.1	4.3	13.8	-	2.4	69.5	15.6
家族成熟期	463	-	2.4	31.3	38.2	12.7	2.8	12.1	0.4	2.1	60.3	18.4
高齢期	609	0.5	1.6	27.9	32.3	14.0	4.4	17.2	2.0	1.2	53.3	26.2
その他	676	0.3	0.9	20.1	33.1	19.1	7.1	18.8	0.6			

(3) 生活全体の満足度

◇『満足している（計）』は51.0%、『不満である（計）』は42.9%

問3 あなたは、現在の生活について、全体としてどの程度満足していますか。
(○は1つだけ)



生活全体に対する満足度は、「まあ満足している」(48.0%) が5割弱で最も高く、次いで「やや不満である」(35.5%) となっている。「大変満足している」(3.0%) と「まあ満足している」(48.0%) を合わせた『満足している（計）』(51.0%) は5割強、「大変不満である」(7.4%) と「やや不満である」(35.5%) を合わせた『不満である（計）』(42.9%) は4割強となっている。『満足している（計）』が『不満である（計）』を8.1ポイント上回っている。

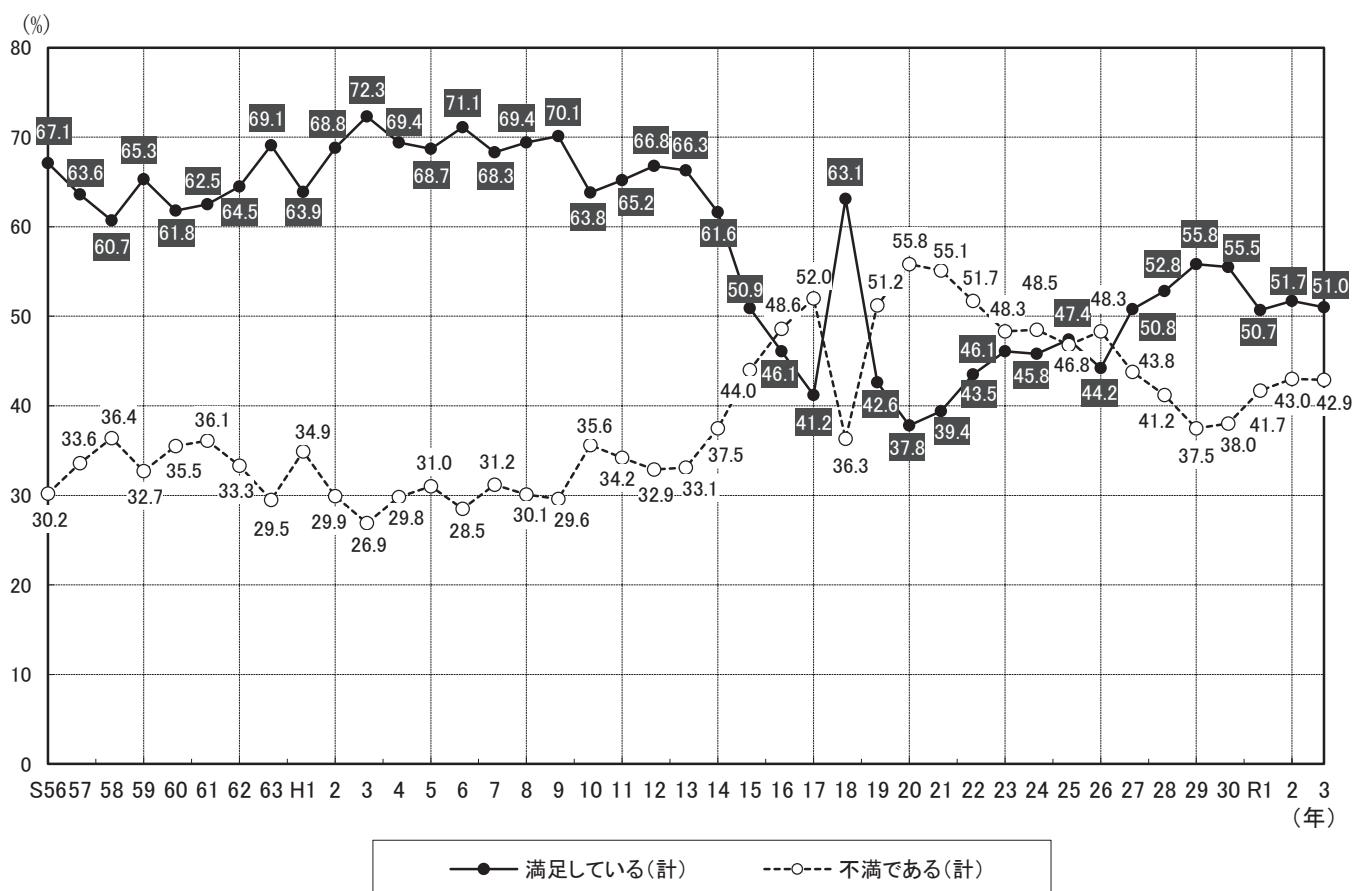
【過去調査との比較】

令和2年調査とほぼ同様の結果となっている。

【経年比較】

昭和56年以降の推移をみると、平成19年以降『不満である（計）』の割合が『満足している（計）』をおおむね上回る傾向にあったが、『満足している（計）』の割合が平成27年調査（50.8%）で5割を超えて逆転した。今回調査でも、『満足している（計）』（51.0%）が『不満である（計）』（42.9%）を7年連続、上回っている。

○生活全体の満足度・昭和56年以降の推移



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

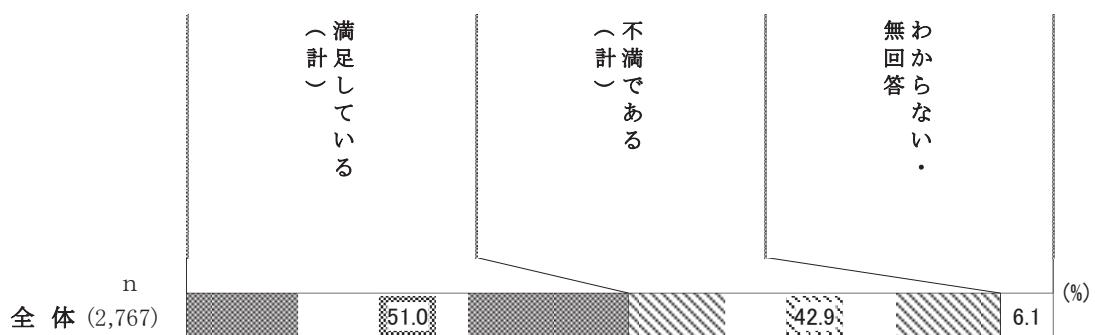
【昨年と比べた暮らし向き別】

問1の昨年と比べた暮らし向き別にみると、生活全体に『満足している（計）』と回答した割合は楽になった（計）では82.3%、変わらないでは67.4%と高くなっている。一方で、苦しくなった（計）では24.8%と低くなっている。

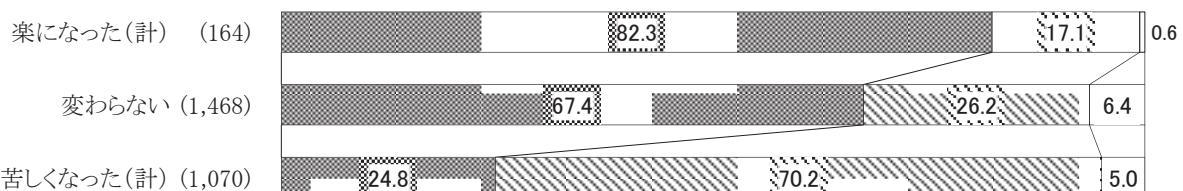
【生活程度別】

問2の生活程度別にみると、生活全体に『満足している（計）』と回答した割合は上（計）では93.4%と高く、中（計）でも61.0%と6割強と高くなっている。一方で、下（計）では15.7%と低くなっている。

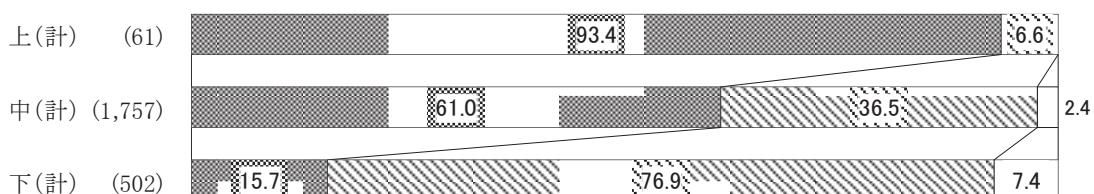
○生活全体の満足度・昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別



【昨年と比べた暮らし向き別】



【生活程度別】



【属性別比較】

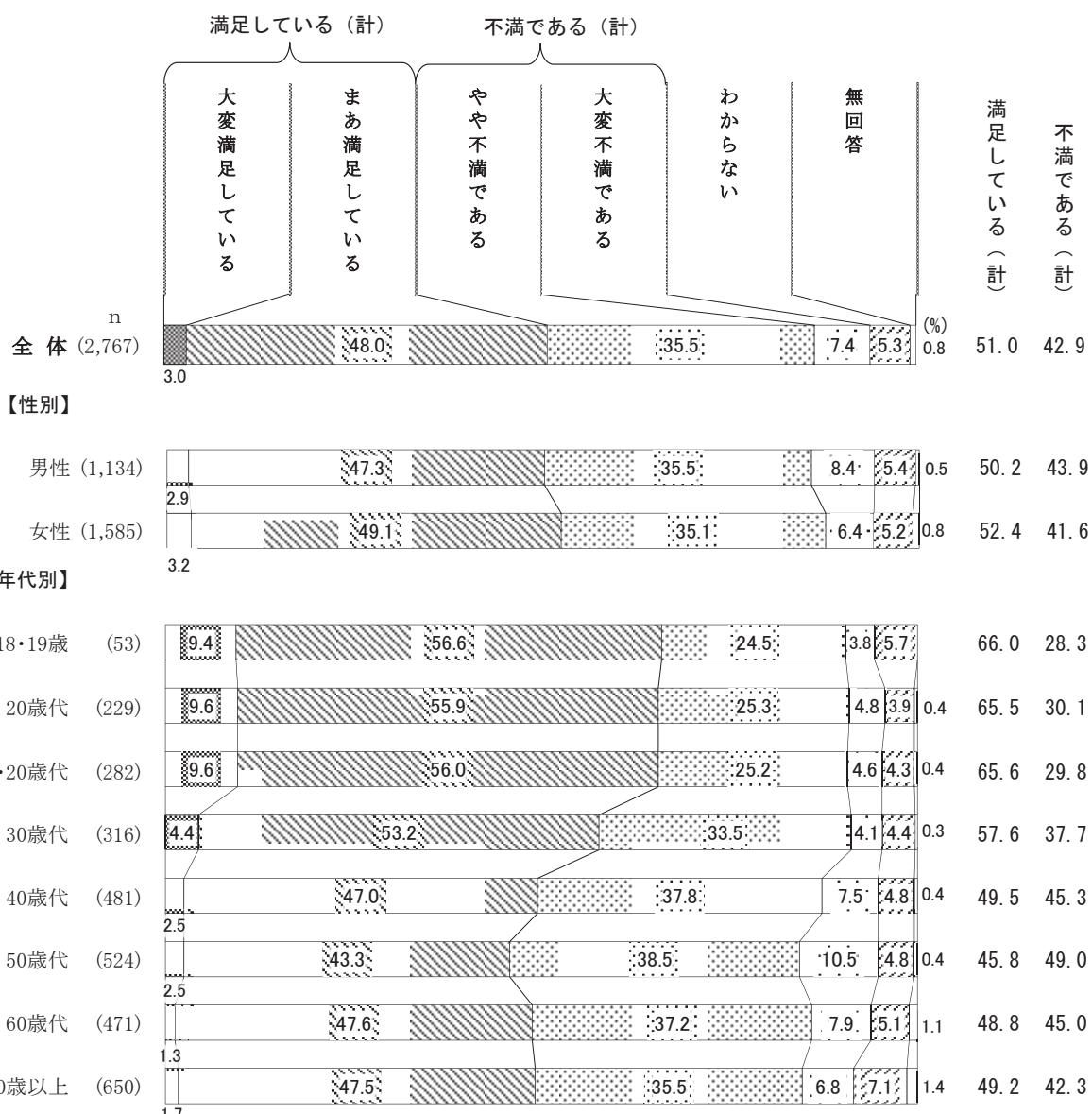
① 性別

『満足している（計）』は女性（52.4%）の方が男性（50.2%）よりも2.2ポイント高くなっている。

② 年代別

『満足している（計）』は10歳代・20歳代（65.6%）で6割台半ばと最も高くなっている。一方で、『不満である（計）』は50歳代（49.0%）で約5割と高くなっている。

○生活全体の満足度・性別／年代別



③ 地域別

『満足している（計）』は川越比企地域（55.6%）で5割台半ばと最も高くなっている。一方で、『不満である（計）』は南西部地域（47.1%）で最も高くなっている。

④ 性・年代別

『満足している（計）』は女性10歳代・20歳代（66.0%）と男性10歳代・20歳代（65.5%）でおおむね6割台半ばと高くなっている。一方で、『不満である（計）』は男性50歳代（50.9%）と40歳代（48.6%）、女性50歳代（47.7%）で、『満足している（計）』を上回って高くなっている。

⑤ 職業別

『満足している（計）』は無職（計）（53.2%）で最も高くなっている。一方で、『不満である（計）』は自営業・家族従業（計）（47.1%）で最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『満足している（計）』は家族形成期（67.4%）で最も高くなっている。一方で、『不満である（計）』は家族成長後期（48.3%）とその他（49.6%）で『満足している（計）』より高くなっている。

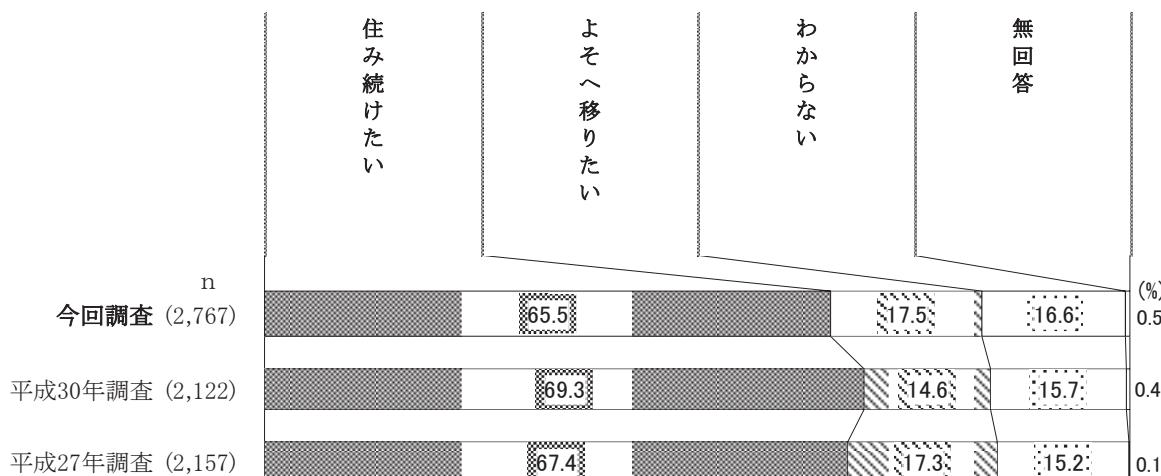
○生活全体の満足度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数 n	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答	満足している（計） (%)	不満である（計） (%)
全 体	2,767	3.0	48.0	35.5	7.4	5.3	0.8	51.0	42.9
地域別									
南部地域	268	3.0	44.4	35.8	9.7	5.2	1.9	47.4	45.5
南西部地域	259	3.5	42.5	35.9	11.2	5.4	1.5	45.9	47.1
東部地域	410	4.6	47.1	36.8	5.9	5.1	0.5	51.7	42.7
さいたま地域	482	3.1	52.1	33.8	6.2	4.6	0.2	55.2	40.0
県央地域	218	1.8	46.3	43.6	3.2	4.6	0.5	48.2	46.8
川越比企地域	293	4.8	50.9	29.0	6.8	7.8	0.7	55.6	35.8
西部地域	299	2.0	51.8	33.4	7.4	4.0	1.3	53.8	40.8
利根地域	245	2.0	46.5	36.7	7.8	6.9	-	48.6	44.5
北部地域	203	2.0	46.8	38.9	7.9	3.9	0.5	48.8	46.8
秩父地域	40	-	52.5	30.0	10.0	7.5	-	52.5	40.0
性・年代別									
男性／18・19歳	28	10.7	71.4	10.7	3.6	3.6	-	82.1	14.3
20歳代	91	7.7	52.7	29.7	6.6	3.3	-	60.4	36.3
【再掲】10歳代・20歳代	119	8.4	57.1	25.2	5.9	3.4	-	65.5	31.1
30歳代	111	5.4	55.9	29.7	4.5	4.5	-	61.3	34.2
40歳代	173	2.9	41.6	37.6	11.0	6.4	0.6	44.5	48.6
50歳代	226	3.1	41.2	37.6	13.3	4.9	-	44.2	50.9
60歳代	215	0.9	49.3	37.7	7.4	4.2	0.5	50.2	45.1
70歳以上	286	0.7	46.5	37.8	6.3	7.3	1.4	47.2	44.1
女性／18・19歳	25	8.0	40.0	40.0	4.0	8.0	-	48.0	44.0
20歳代	137	10.9	58.4	21.9	3.6	4.4	0.7	69.3	25.5
【再掲】10歳代・20歳代	162	10.5	55.6	24.7	3.7	4.9	0.6	66.0	28.4
30歳代	205	3.9	51.7	35.6	3.9	4.4	0.5	55.6	39.5
40歳代	308	2.3	50.0	38.0	5.5	3.9	0.3	52.3	43.5
50歳代	298	2.0	45.0	39.3	8.4	4.7	0.7	47.0	47.7
60歳代	255	1.6	46.3	36.5	8.2	5.9	1.6	47.8	44.7
70歳以上	352	2.6	49.4	33.0	7.1	6.8	1.1	52.0	40.1
職業別									
自営業・家族従業（計）	242	1.7	45.9	37.2	9.9	5.4	-	47.5	47.1
雇用者（計）	1,461	2.7	47.9	37.4	7.3	4.1	0.5	50.7	44.8
無職（計）	1,006	4.0	49.2	32.2	6.6	6.9	1.2	53.2	38.8
ライフステージ別									
独身期	327	7.0	53.5	27.8	5.5	5.5	0.6	60.6	33.3
家族形成期	215	9.3	58.1	28.4	1.9	2.3	-	67.4	30.2
家族成長前期	245	1.6	50.2	36.7	6.5	4.9	-	51.8	43.3
家族成長後期	232	2.6	44.0	41.4	6.9	5.2	-	46.6	48.3
家族成熟期	463	1.9	48.2	38.2	8.2	2.8	0.6	50.1	46.4
高齢期	609	2.0	51.6	34.6	5.6	4.8	1.5	53.5	40.2
その他	676	1.5	39.3	38.0	11.5	8.6	1.0	40.8	49.6

(4) 定住意向

◇「住み続けたい」は65.5%、「よそへ移りたい」は17.5%

問4 あなたは、今お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思いますか。それとも、できればよそへ移りたいと思いますか。(○は1つだけ)



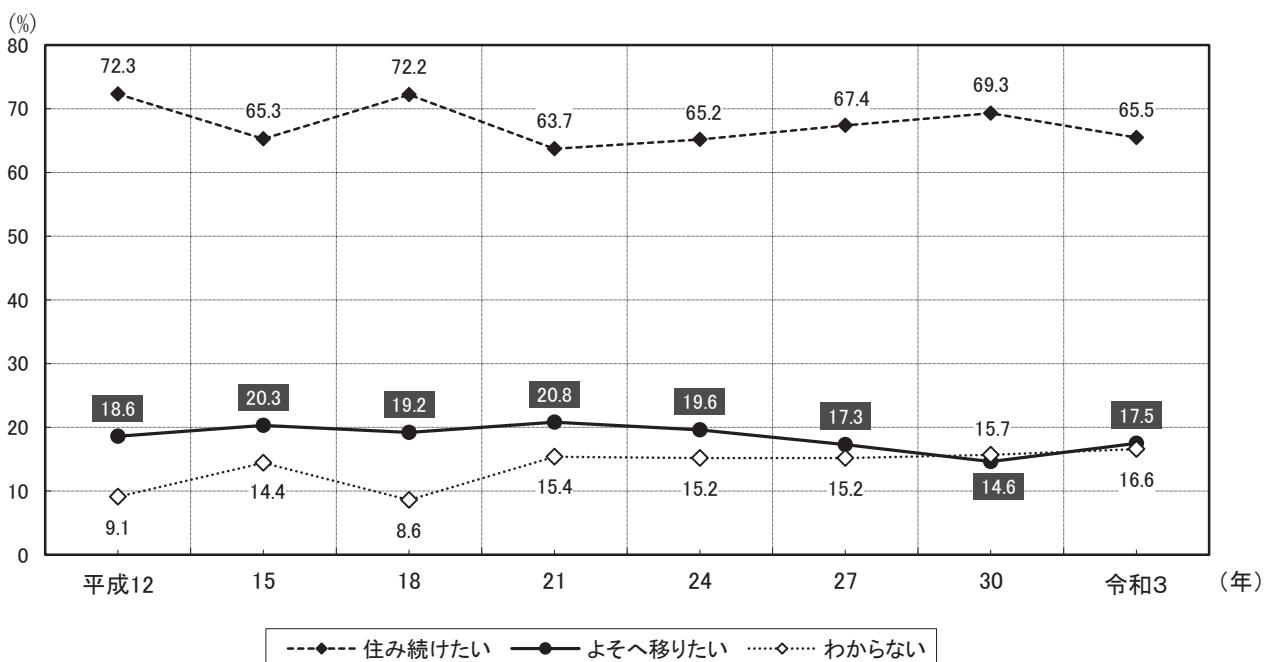
※調査方法の変更により前回調査までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

居住地域に住み続ける意向は、「住み続けたい」(65.5%) が6割台半ばとなっている。

【経年比較】

「住み続けたい」が前回と比較して3.8ポイント減少した。一方で、「よそへ移りたい」は前回と比較して2.9ポイント増加した。

○定住意向・平成12年以降の推移



※調査方法の変更により前回調査までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

【昨年と比べた暮らし向き別】

問1の昨年と比べた暮らし向き別にみると、「住み続けたい」は変わらない（70.7%）で7割を超えている。一方で、「よそへ移りたい」は苦しくなった（計）（21.7%）で2割強となっている。

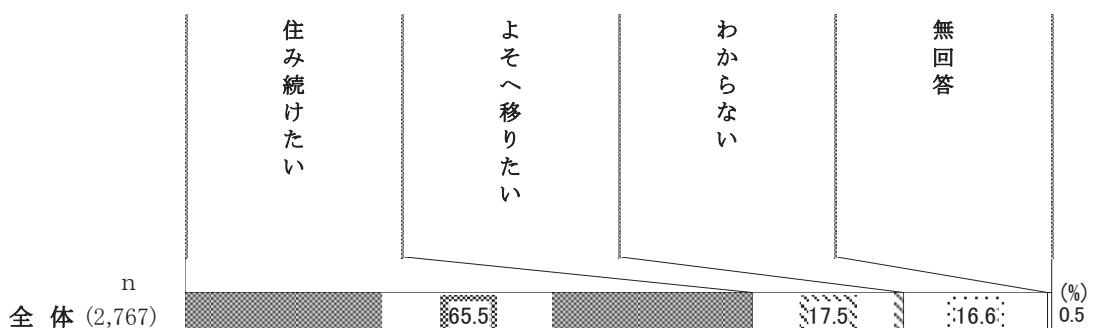
【生活程度別】

問2の生活程度別にみると、「住み続けたい」は上（計）（78.7%）で8割弱となっているが、下（計）（57.2%）では5割台後半にとどまっている。一方で、「よそへ移りたい」は下（計）（24.9%）で2割台半ばとなっている。

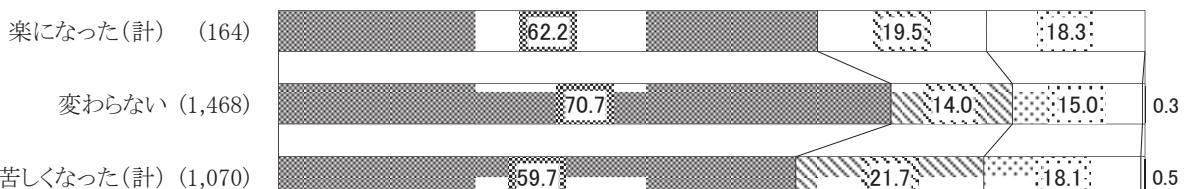
【生活満足度別】

問3の生活満足度別にみると、「住み続けたい」は満足している（計）（73.7%）で7割強となっているが、不満である（計）（58.0%）では5割台後半にとどまっている。一方で、「よそへ移りたい」は不満である（計）（23.4%）で2割強となっている。

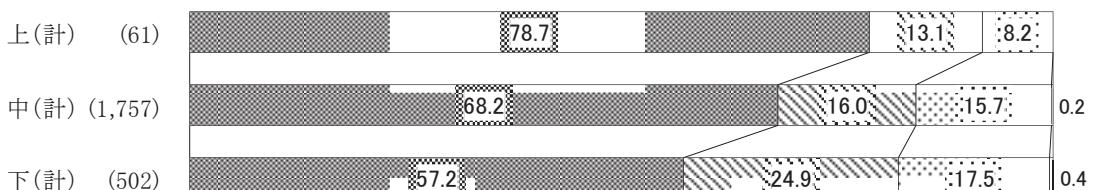
○定住意向・昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別／生活満足度別



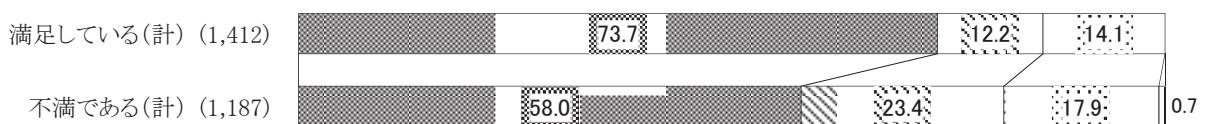
【昨年と比べた暮らし向き別】



【生活程度別】



【生活満足度別】



【属性別比較】

① 地域別

「住み続けたい」は南部地域（68.3%）で7割弱と最も高くなっている。一方で、「よそへ移りたい」は南西部地域（23.9%）と秩父地域（22.5%）が、ともに2割強で他の地域に比べてやや高くなっている。

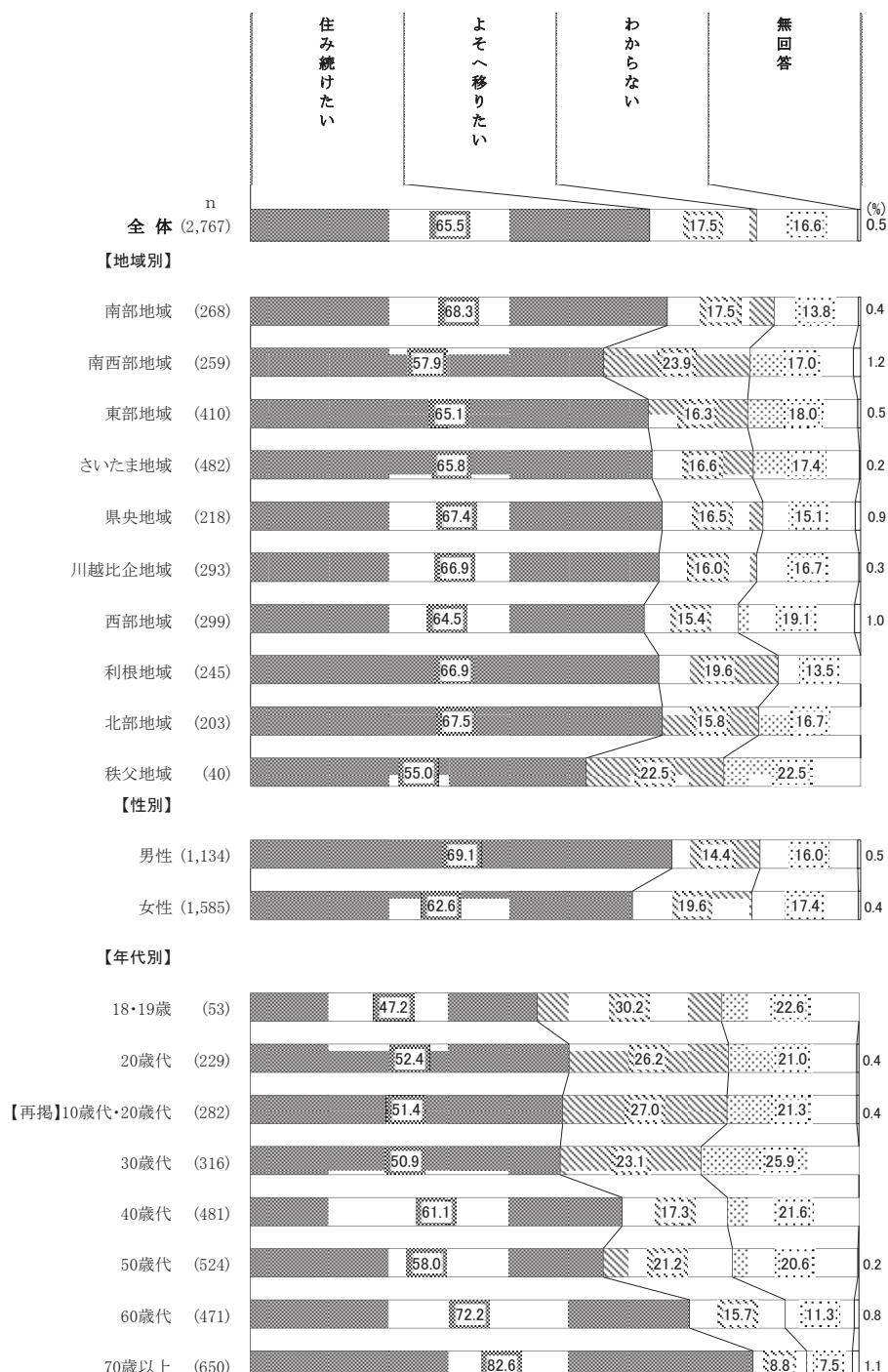
② 性別

「住み続けたい」は、男性（69.1%）の方が、女性（62.6%）よりも6.5ポイント高くなっている。

③ 年代別

「住み続けたい」は70歳以上（82.6%）で8割強と最も高い。一方で、「よそへ移りたい」は10歳代・20歳代（27.0%）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。

○定住意向・地域別／性別／年代別



④ 県内居住年数別

「住み続けたい」は居住年数が長いほど意向が高く、30年以上（73.3%）で7割強と最も高く、5年未満（43.0%）で4割強と開きがみられる。

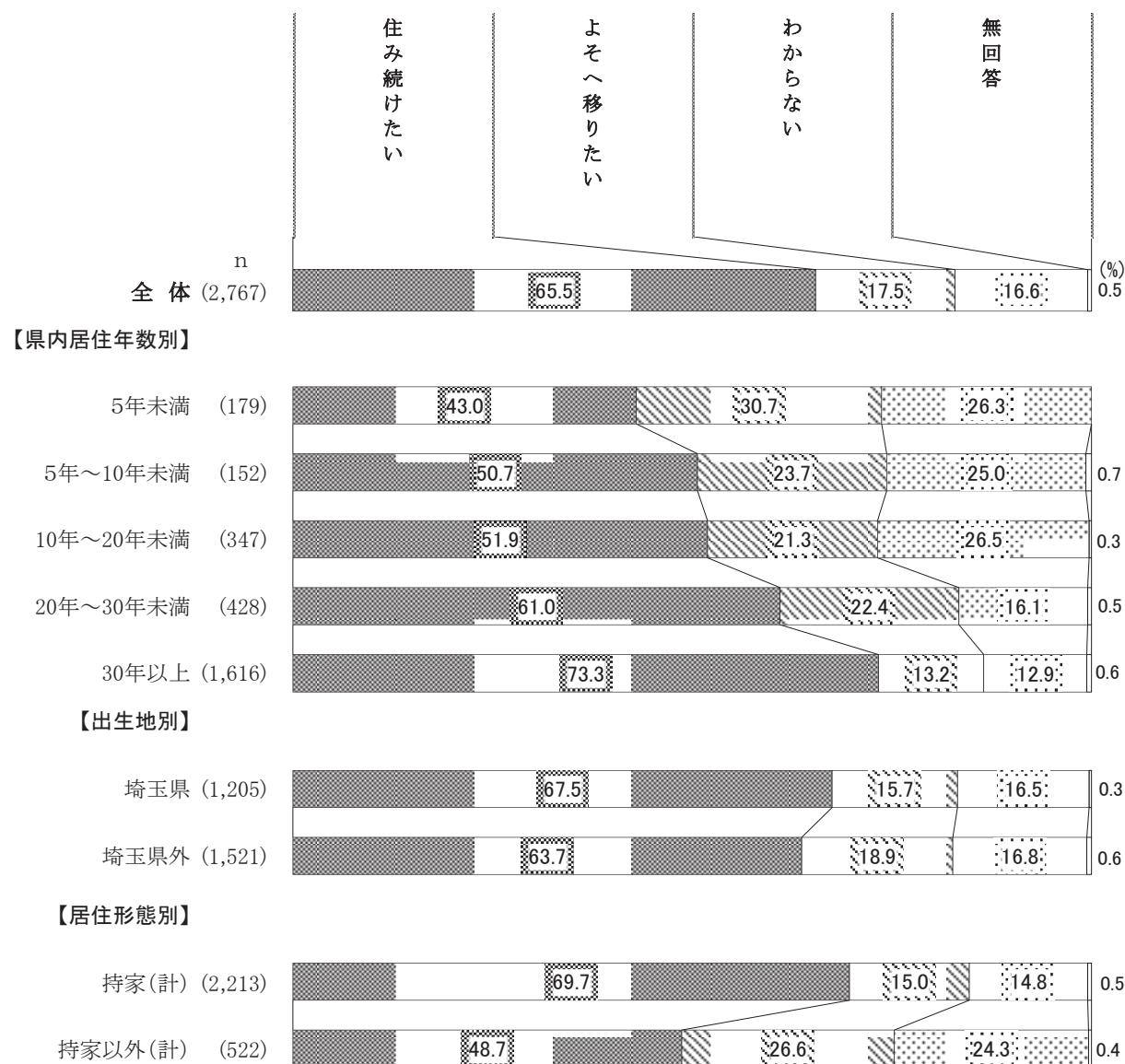
⑤ 出生地別

「住み続けたい」は埼玉県生まれの人（67.5%）の方が埼玉県外生まれの人（63.7%）よりも3.8ポイント高くなっている。

⑥ 居住形態別

「住み続けたい」は持家（計）（69.7%）の方が持家以外（計）（48.7%）よりも21.0ポイント高くなっている。

○定住意向・県内居住年数別／出生地別／居住形態別



⑦ 性・年代別

「住み続けたい」は男女ともに70歳以上（男性84.3%、女性81.5%）で8割台と高く、女性30歳代（45.4%）で4割台半ばと最も低くなっている。一方で、「よそへ移りたい」は女性10歳代・20歳代（29.0%）で約3割と最も高くなっている。

⑧ 職業別

「住み続けたい」は自営業・家族従業（計）（72.3%）で7割強と最も高くなっている。

⑨ ライフステージ別

「住み続けたい」は高齢期（80.6%）で8割を超えて最も高くなっている。一方で、「よそへ移りたい」は独身期（26.3%）と家族形成期（23.3%）で2割台と高くなっている。

○定住意向・性・年代別／職業別／ライフステージ別

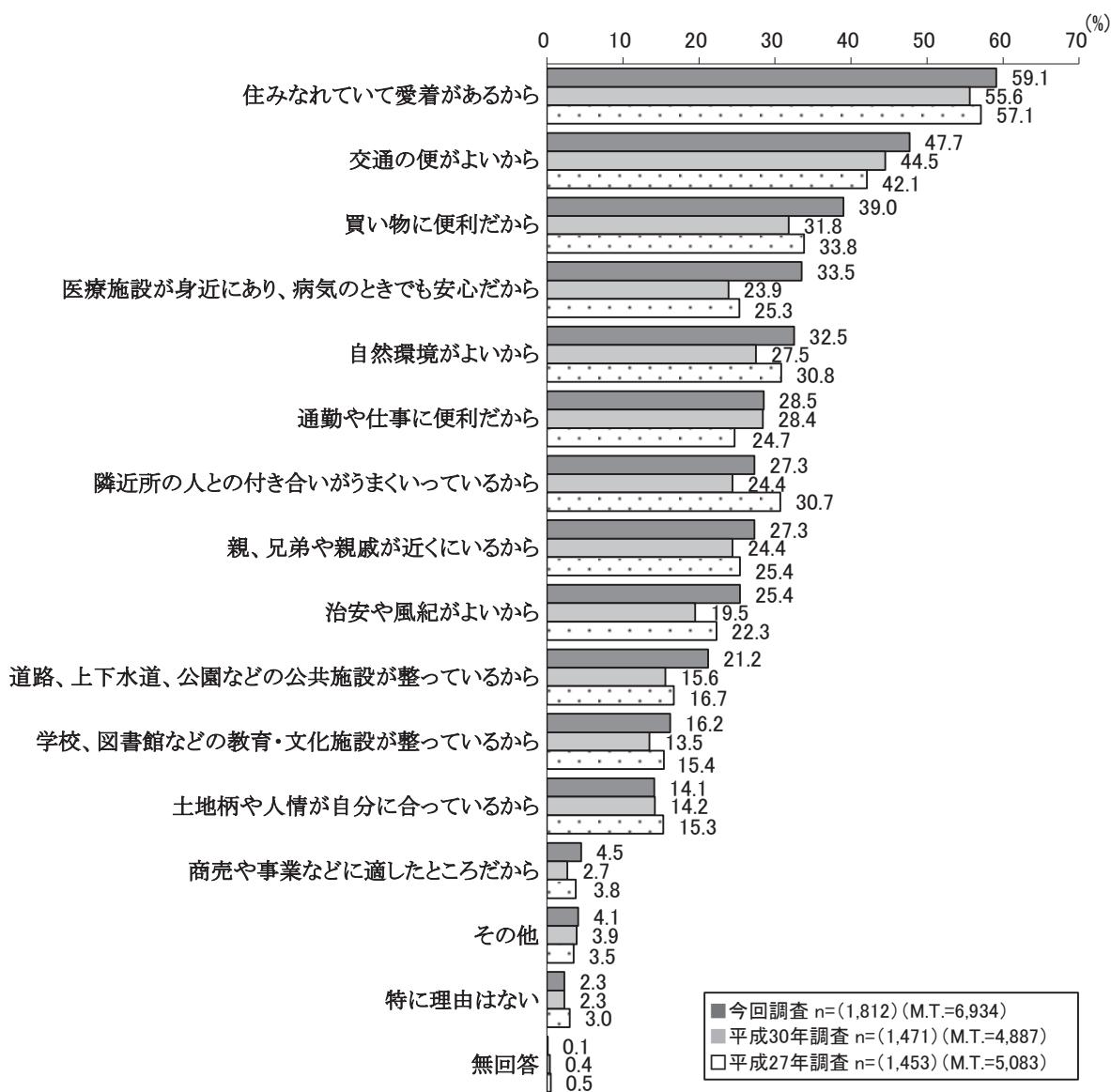
	調査数 n	住み 続け たい	よそ へ 移り たい	わ か ら な い	無 回 答	(%)
全 体	2,767	65.5	17.5	16.6	0.5	
性・年代別						
男性／18・19歳	28	42.9	25.0	32.1	-	
20歳代	91	57.1	24.2	18.7	-	
【再掲】10歳代・20歳代	119	53.8	24.4	21.8	-	
30歳代	111	61.3	18.0	20.7	-	
40歳代	173	61.3	16.8	22.0	-	
50歳代	226	60.6	19.5	19.9	-	
60歳代	215	76.7	12.1	10.7	0.5	
70歳以上	286	84.3	4.9	9.1	1.7	
女性／18・19歳	25	52.0	36.0	12.0	-	
20歳代	137	48.9	27.7	22.6	0.7	
【再掲】10歳代・20歳代	162	49.4	29.0	21.0	0.6	
30歳代	205	45.4	25.9	28.8	-	
40歳代	308	61.0	17.5	21.4	-	
50歳代	298	56.0	22.5	21.1	0.3	
60歳代	255	68.2	18.8	11.8	1.2	
70歳以上	352	81.5	11.6	6.3	0.6	
職業別						
自営業・家族従業（計）	242	72.3	13.6	13.2	0.8	
雇用者（計）	1,461	60.4	19.8	19.8	0.1	
無職（計）	1,006	70.8	15.2	13.1	0.9	
ライフステージ別						
独身期	327	49.8	26.3	23.9	-	
家族形成期	215	58.1	23.3	18.1	0.5	
家族成長前期	245	59.6	15.9	24.5	-	
家族成長後期	232	56.5	21.1	22.4	-	
家族成熟期	463	70.8	17.1	11.9	0.2	
高齢期	609	80.6	9.5	8.9	1.0	
その他	676	63.3	18.0	17.9	0.7	

(4-1) 定住したい理由

◇「住みなれていて愛着があるから」が59.1%

(問4で「1. 住み続けたい」とお答えの方にお伺いします。)

問4-1 今お住まいの地域に住み続けたいと思う理由は何ですか。あてはまるものすべて選んでください。(○はいくつでも)



※調査方法の変更により前回調査までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

定住したい理由は、「住みなれていて愛着があるから」(59.1%)が約6割と最も高く、次いで「交通の便がよいから」(47.7%)、「買い物に便利だから」(39.0%)、「医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから」(33.5%)、「自然環境がよいから」(32.5%)、「通勤や仕事に便利だから」(28.5%)、「隣近所の人との付き合いがうまくいっているから」(27.3%)、「親、兄弟や親戚が近くにいるから」(27.3%)、「治安や風紀がよいから」(25.4%)、「道路、上下水道、公園などの公共施設が整っているから」(21.2%)などとなっている。

定住したい理由で高かった回答の上位10位と、前回（平成30年調査）の順位は次のようにになっている。

		今 回	前回（平成30年調査）	増減差
1位	住みなれていて愛着があるから	59.1%	55.6% (1位)	3.5
2位	交通の便がよいから	47.7	44.5 (2位)	3.2
3位	買い物に便利だから	39.0	31.8 (3位)	7.2
4位	医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから	33.5	23.9 (8位)	9.6
5位	自然環境がよいから	32.5	27.5 (5位)	5.0
6位	通勤や仕事に便利だから	28.5	28.4 (4位)	0.1
7位	隣近所の人との付き合いがうまくいっているから	27.3	24.4 (6位)	2.9
7位	親、兄弟や親戚が近くにいるから	27.3	24.4 (6位)	2.9
9位	治安や風紀がよいから	25.4	19.5 (9位)	5.9
10位	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っているから	21.2	15.6 (10位)	5.6

【平成30年調査との比較】

今回の上位10位を前回の平成30年調査と比較すると、「医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから」は8位から4位に順位を上げている。「通勤や仕事に便利だから」は4位から6位に順位を下げている。

前回との増減をみると、上位10位すべての項目で増加となっており、「医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから」(9.6ポイント増)、「買い物に便利だから」(7.2ポイント増)、「治安や風紀がよいから」(5.9ポイント増)、「道路、上下水道、公園などの公共施設が整っているから」(5.6ポイント増)、「自然環境がよいから」(5.0ポイント増)が5%以上の増加となっている。

【平成21年以降の上位10位の推移】

平成21年以降の5回の調査の上位10位の推移をみると、今回1位の「住みなれていて愛着があるから」と、2位の「交通の便がよいから」はそれぞれ5回連続で1位、2位となっている。3位の「買い物に便利だから」も3回連続3位となっている。今回4位に上昇している「医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから」は前回まで25%前後で推移していたが、今回33.5%と一気に10ポイント程増加している。「通勤や仕事に便利だから」は前回4位から今回6位に下降しているが、割合は28%半ばで大きい変動はない。



【上位 5 位の推移】

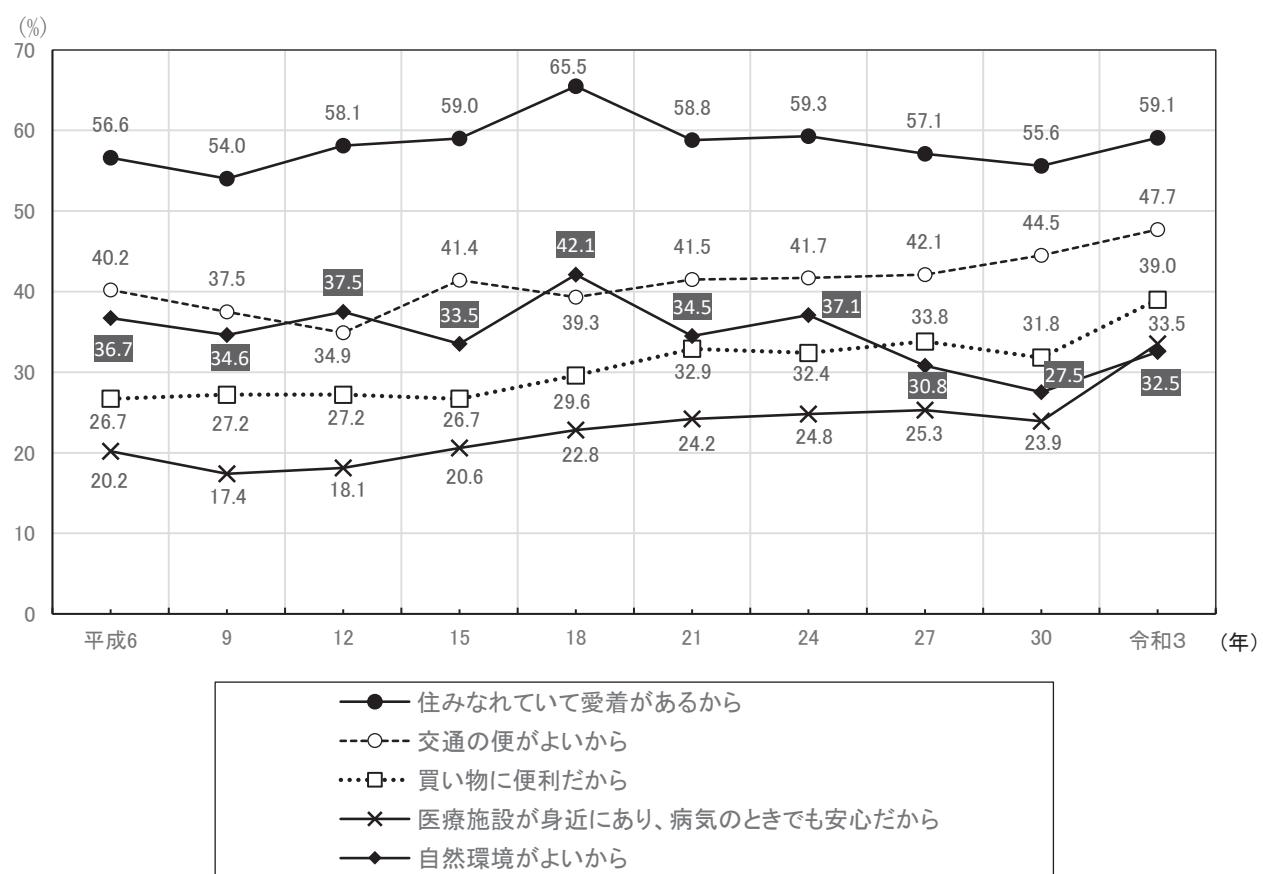
1 位の「住みなれていて愛着があるから」は平成6年以降1位を維持している。前回は5割台半ばまで下がったが、今回は再び59.1%まで上昇した。

2 位の「交通の便がよいから」は平成15年以降、おおむね4割台を維持しており、5回連続で上昇し今回は47.7%まで上がった。

3 位の「買い物に便利だから」は平成21年以降3割台で推移していたが、今回は39.0%まで上がった。

4 位の「医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから」は平成9年で17.4%だったが、以降6回連続で上昇を続け、前回はやや下がったものの、今回は大きく上昇し33.5%と初めて3割台となった。

5 位の「自然環境がよいから」は前回で2割台に下げたが、今回は再び3割台まで上昇した。



※調査方法の変更により前回調査までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

【属性別比較】

① 地域別

1位はほとんどの地域が「住みなれていて愛着があるから」であり、さいたま地域のみ「交通の便がよいから」となっている。2位はさいたま地域以外の県南ゾーンと県央地域、川越比企地域で「交通の便がよいから」、西部地域、利根地域と県北ゾーンで「自然環境がよいから」となっている。3位は県南ゾーンと県央地域、川越比企地域で「買い物に便利だから」となっている。また、「通勤や仕事に便利だから」は県南ゾーンの全地域で5位以内に入っている。

※秩父地域（n=22）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

【属性別の上位5位】

■ 地域別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
南部地域 (n=183)	住みなれていて愛着があるから 61.2%	交通の便がよいから 59.6%	買い物に便利だから 47.0%	通勤や仕事に便利だから 37.7%	医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから 35.5%
南西部地域 (n=150)	住みなれていて愛着があるから 55.3%	交通の便がよいから 54.7%	買い物に便利だから 46.7%	医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから 34.7%	通勤や仕事に便利だから 33.3%
東部地域 (n=267)	住みなれていて愛着があるから 54.3%	交通の便がよいから 49.1%	買い物に便利だから 43.8%	医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから 31.5%	通勤や仕事に便利だから 28.8%
さいたま地域 (n=317)	交通の便がよいから 61.5%	住みなれていて愛着があるから 53.9%	買い物に便利だから 45.4%	治安や風紀がよいから 37.5%	通勤や仕事に便利だから 34.7%
県央地域 (n=147)	住みなれていて愛着があるから 54.4%	交通の便がよいから 33.3%	買い物に便利だから 31.3%	自然環境がよいから／親、兄弟や親戚が近くにいるから 30.6%	
川越比企地域 (n=196)	住みなれていて愛着があるから 60.7%	交通の便がよいから 48.0%	買い物に便利だから 40.8%	医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから 36.7%	自然環境がよいから 35.7%
西部地域 (n=193)	住みなれていて愛着があるから 63.2%	自然環境がよいから 60.1%	交通の便がよいから 45.1%	医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから 40.9%	買い物に便利だから 34.2%
利根地域 (n=164)	住みなれていて愛着があるから 67.1%	自然環境がよいから 40.9%	隣近所の人との付き合いがうまくいっているから 36.0%	医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから 34.8%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 34.1%
北部地域 (n=137)	住みなれていて愛着があるから 69.3%	自然環境がよいから 40.9%	交通の便がよいから／親、兄弟や親戚が近くにいるから 39.4%		隣近所の人との付き合いがうまくいっているから 33.6%
秩父地域 (n=22)	住みなれていて愛着があるから 68.2%	自然環境がよいから 59.1%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 54.5%		治安や風紀がよいから／土地柄や人情が自分に合っているから 18.2%

② 性別

1位から3位までは男女とも同じだが、「自然環境がよいから」は男性で4位、女性で5位、「医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから」は男性で5位、女性で4位となっている。

■性別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (n=784)	住みなれていて愛着があるから 60. 6	交通の便がよいか ら 49. 7	買い物に便利だか ら 38. 4	自然環境がよいか ら 33. 8	医療施設が身近にあ り、病気のときでも 安心だから 32. 7
女性 (n=992)	住みなれていて愛着があるから 58. 6	交通の便がよいか ら 47. 0	買い物に便利だか ら 39. 6	医療施設が身近にあ り、病気のときでも 安心だから 34. 2	自然環境がよいか ら 31. 6

③ 年代別

1位はすべての年代で「住みなれていて愛着があるから」となっている。2位は60歳代までは「交通の便がよいか」、70歳以上では「医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから」となっている。3位は50歳代までが「通勤や仕事に便利だから」、50歳代と60歳代で「買い物に便利だから」、70歳以上で「交通の便がよいか」となっている。

■年代別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18・19歳 (n=25)	住みなれていて愛着があるから 60. 0%	交通の便がよいか ら 40. 0%	買い物に便利だか ら 36. 0%	通勤や仕事に便利 だから 28. 0%	親、兄弟や親戚が近 くにいるから 24. 0%
20歳代 (n=120)	住みなれていて愛着があるから 56. 7%	交通の便がよいか ら 53. 3%	通勤や仕事に便利 だから 38. 3%	親、兄弟や親戚が近 くにいるから 35. 8%	買い物に便利だから 31. 7%
【再掲】 10歳代・20歳代 (n=145)	住みなれていて愛着があるから 57. 2%	交通の便がよいか ら 51. 0%	通勤や仕事に便利 だから 36. 6%	親、兄弟や親戚が近 くにいるから 33. 8%	買い物に便利だから 32. 4%
30歳代 (n=161)	住みなれていて愛着があるから 46. 6%	交通の便がよいか ら 46. 0%	通勤や仕事に便利 だから 41. 6%	親、兄弟や親戚が近 くにいるから 39. 8%	買い物に便利だから 36. 0%
40歳代 (n=294)	住みなれていて愛着があるから 53. 4%	交通の便がよいか ら 47. 6%	通勤や仕事に便利 だから 45. 2%	買い物に便利だか ら 36. 1%	親、兄弟や親戚が近 くにいるから 35. 4%
50歳代 (n=304)	住みなれていて愛着があるから 56. 6%	交通の便がよいか ら 51. 0%	通勤や仕事に便利だから／ 買い物に便利だから 39. 1%		自然環境がよいか ら／医療施設が身近に あり、病気のときでも 安心だから 28. 9%
60歳代 (n=340)	住みなれていて愛着があるから 65. 6%	交通の便がよいか ら 45. 6%	買い物に便利だか ら 38. 5%	医療施設が身近に あり、病気のとき でも安心だから 35. 3%	自然環境がよいか ら 34. 1%
70歳以上 (n=537)	住みなれていて愛着があるから 64. 8%	医療施設が身近に あり、病気のとき でも安心だから 49. 5%	交通の便がよいか ら 48. 0%	買い物に便利だか ら 44. 1%	自然環境がよいか ら 42. 6%

④ 性・年代別

1位はほとんどの層で「住みなれていて愛着があるから」となっているが、男性30歳代のみ「交通の便がよいか」が1位に挙げられている。2位は男女ともに60歳代までのほとんどの層で「交通の便がよいか」となっているが、男性30歳代では「通勤や仕事に便利だから」、女性30歳代では「親、兄弟や親戚が近くにいるから」、男女とも70歳以上では「医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから」となっている。

■性・年代別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
【男性】 18・19歳 (n=12)	住みなれていて愛着があるから 66.7%	交通の便がよいから 58.3%	買い物に便利だから 41.7%	自然環境がよいから／通勤や仕事に便利だから 33.3%	
20歳代 (n=52)	住みなれていて愛着があるから 55.8%	交通の便がよいから 50.0%	治安や風紀がよいから 34.6%	通勤や仕事に便利だから／親、兄弟や親戚が近くにいるから 32.7%	
【再掲】 10歳代・20歳代 (n=64)	住みなれていて愛着があるから 57.8%	交通の便がよいから 51.6%	通勤や仕事に便利だから／治安や風紀がよいから 32.8%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 29.7%	
30歳代 (n=68)	交通の便がよいから 60.3%	通勤や仕事に便利だから 45.6%	住みなれていて愛着があるから 41.2%	買い物に便利だから 39.7%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 38.2%
40歳代 (n=106)	住みなれていて愛着があるから 54.7%	交通の便がよいから 49.1%	通勤や仕事に便利だから 45.3%	買い物に便利だから 36.8%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 33.0%
50歳代 (n=137)	住みなれていて愛着があるから 61.3%	交通の便がよいから 52.6%	通勤や仕事に便利だから 37.2%	買い物に便利だから 35.0%	自然環境がよいから 32.1%
60歳代 (n=165)	住みなれていて愛着があるから 70.3%	交通の便がよいから 45.5%	自然環境がよいから／買い物に便利だから 35.8%		医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから 32.7%
70歳以上 (n=241)	住みなれていて愛着があるから 62.2%	医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから 49.4%	交通の便がよいから 47.7%	買い物に便利だから 45.2%	自然環境がよいから／隣近所の人との付き合いがうまくいっているから 41.5%
【女性】 18・19歳 (n=13)	住みなれていて愛着があるから 53.8%	買い物に便利だから／親、兄弟や親戚が近くにいるから 30.8%		交通の便がよいから／通勤や仕事に便利だから／隣近所の人との付き合いがうまくいっているから 23.1%	
20歳代 (n=67)	住みなれていて愛着があるから 58.2%	交通の便がよいから 55.2%	通勤や仕事に便利だから 41.8%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 38.8%	買い物に便利だから 37.3%
【再掲】 10歳代・20歳代 (n=80)	住みなれていて愛着があるから 57.5%	交通の便がよいから 50.0%	通勤や仕事に便利だから 38.8%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 37.5%	買い物に便利だから 36.3%
30歳代 (n=93)	住みなれていて愛着があるから 50.5%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 40.9%	通勤や仕事に便利だから 38.7%	交通の便がよいから 35.5%	買い物に便利だから 33.3%
40歳代 (n=188)	住みなれていて愛着があるから 52.7%	交通の便がよいから 46.8%	通勤や仕事に便利だから 45.2%	親、兄弟や親戚が近くにいるから 36.7%	買い物に便利だから 35.6%
50歳代 (n=167)	住みなれていて愛着があるから 52.7%	交通の便がよいから 49.7%	買い物に便利だから 42.5%	通勤や仕事に便利だから 40.7%	医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから 27.5%
60歳代 (n=174)	住みなれていて愛着があるから 60.9%	交通の便がよいから 45.4%	買い物に便利だから 40.8%	隣近所の人との付き合いがうまくいっているから 37.9%	医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから 37.4%
70歳以上 (n=287)	住みなれていて愛着があるから 67.6%	医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから 49.8%	交通の便がよいから 49.1%	自然環境がよいから 44.3%	買い物に便利だから 43.2%

⑤ 職業別

1位はいずれも「住みなれていて愛着があるから」となっている。2位は雇用者（計）と無職（計）で「交通の便がよいから」、自営業・家族従業（計）は「自然環境がよいから」となっている。3位は自営業・家族従業（計）で「交通の便がよいから」、雇用者（計）で「通勤や仕事に便利だから」、無職（計）で「医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから」となっている。

■職業別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
自営業・家族従業（計） (n=175)	住みなれていて愛着があるから 68.0%	自然環境がよいか ら 43.4%	交通の便がよいか ら 40.6%	隣近所の人との付 き合いがうまく いっているから 39.4%	買い物に便利だか ら 33.7%
雇用者（計） (n=882)	住みなれていて愛着があるから 56.0%	交通の便がよいか ら 49.8%	通勤や仕事に便利 だから 45.7%	買い物に便利だか ら 37.9%	親、兄弟や親戚が 近くにいるから 29.0%
無職（計） (n=712)	住みなれていて愛着があるから 61.5%	交通の便がよいか ら 47.5%	医療施設が身近にあり、病気のときでも安心だから／買い物に便利だから 42.0%	自然環境がよいか ら 34.6%	

⑥ 県内居住年数別

1位は20年未満で「交通の便がよいから」、20年以上で「住みなれていて愛着があるから」と居住20年を境に差が見られる。2位は10年未満で「買い物に便利だから」、10年～20年未満で「通勤や仕事に便利だから」、20年以上で「交通の便がよいから」となっている。

■県内居住年数別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
5年未満 (n=77)	交通の便がよいか ら 55.8%	買い物に便利だか ら 40.3%	通勤や仕事に便利 だから 35.1%	自然環境がよいか ら 26.0%	治安や風紀がよ いから 24.7%
5年～10年未満 (n=77)	交通の便がよいか ら 55.8%	買い物に便利だか ら 51.9%	医療施設が身近に あり、病気のとき でも安心だから 41.6%	通勤や仕事に便利 だから 35.1%	治安や風紀がよ いから 33.8%
10年～20年未満 (n=180)	交通の便がよいか ら 56.7%	通勤や仕事に便利 だから 46.1%	買い物に便利だか ら 44.4%	住みなれていて愛 着があるから 38.3%	自然環境がよいか ら／医療施設が身 近にあり、病気の ときでも安心だか ら 28.9%
20年～30年未満 (n=261)	住みなれていて愛 着があるから 57.9%	交通の便がよいか ら 47.5%	通勤や仕事に便利 だから 36.4%	買い物に便利だか ら 36.0%	自然環境がよいか ら／親、兄弟や親 戚が近くにいるか ら 26.4%
30年以上 (n=1,184)	住みなれていて愛 着があるから 67.6%	交通の便がよいか ら 45.9%	買い物に便利だか ら 38.2%	医療施設が身近に あり、病気のとき でも安心だから 36.7%	自然環境がよいか ら 35.2%

⑦ 居住形態別

持家（計）と持家以外（計）の上位3位を比較すると、持家（計）では、「住みなれていて愛着があるから」（60.6%）、「交通の便がよいから」（45.6%）、「買い物に便利だから」（37.9%）の順となっており、持家以外（計）では、「交通の便がよいから」（61.8%）が1位で、次いで「住みなれていて愛着があるから」（49.6%）、「買い物に便利だから」（46.1%）の順となっている。

持家（計）の内訳をみると、持家（一戸建）の上位3位は、「住みなれていて愛着があるから」、「交通の便がよいから」、「自然環境がよいから」と愛着や自然環境が挙げられており、持家（分譲マンションなど集合住宅）の上位3位は、「交通の便がよいから」、「買い物に便利だから」、「住みなれていて愛着があるから」と利便性が挙げられている。

持家以外（計）の内訳をみると、民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など）の上位3位は、「交通の便がよいから」、「通勤や仕事に便利だから」、「買い物に便利だから」とすべて利便性が挙げられており、UR都市機構（旧公団）・公社・公営の賃貸住宅・アパートの上位3位は、「住みなれていて愛着があるから」、「交通の便がよいから」、「買い物に便利だから」と愛着が1位に挙げられているのが特徴的となっている。

■居住形態別（抜粋）

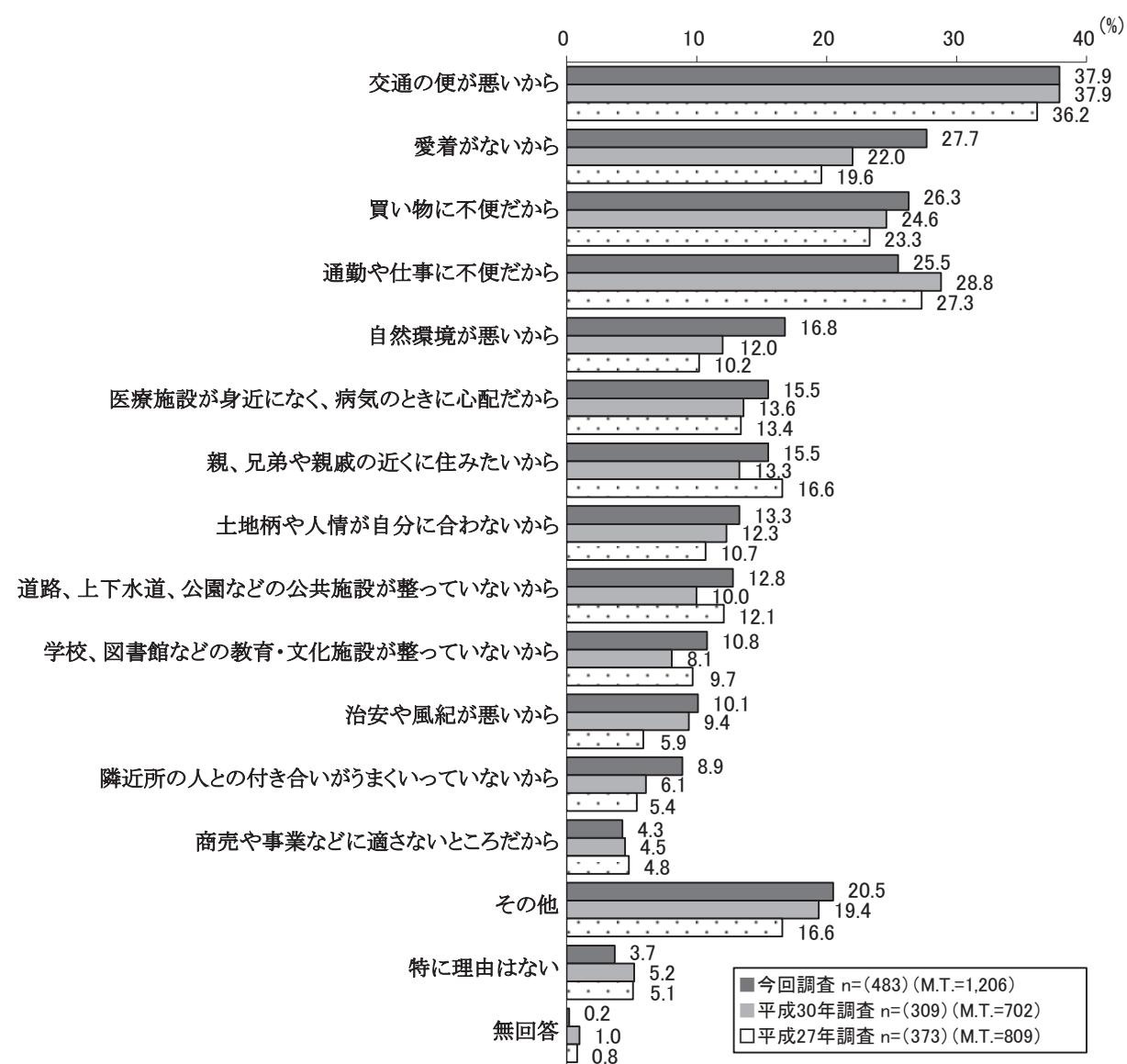
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
持家（計） (n=1,542)	住みなれていて愛着があるから 60.6%	交通の便がよいか ら 45.6%	買い物に便利だか ら 37.9%	自然環境がよいか ら／医療施設が身近 にあり、病気のときでも安心だから 33.9%	
持家 (一戸建) (n=1,303)	住みなれていて愛着があるから 62.2%	交通の便がよいか ら 41.7%	自然環境がよいか ら 34.9%	買い物に便利だか ら 34.5%	隣近所の人との付 き合いがうまく いっているから 32.5%
持家（分譲マン ションなど集合 住宅） (n=239)	交通の便がよいか ら 66.9%	買い物に便利だか ら 56.5%	住みなれていて愛 着があるから 51.9%	医療施設が身近に あり、病気のとき でも安心だから 45.2%	通勤や仕事に便利 だから 32.6%
持家以外（計） (n=254)	交通の便がよいか ら 61.8%	住みなれていて愛 着があるから 49.6%	買い物に便利だか ら 46.1%	通勤や仕事に便利 だから 43.3%	医療施設が身近に あり、病気のとき でも安心だから 31.5%
民間の借家（賃 貸マンション・ アパート、一戸 建の借家など） (n=183)	交通の便がよいか ら 65.6%	通勤や仕事に便利 だから 49.7%	買い物に便利だか ら 47.0%	住みなれていて愛 着があるから 46.4%	医療施設が身近に あり、病気のとき でも安心だから 30.6%
UR都市機構 (旧公団)・公 社・公営の賃貸 住宅・アパート (n=49)	住みなれていて愛 着があるから 65.3%	交通の便がよいか ら 53.1%	買い物に便利だか ら 42.9%	医療施設が身近に あり、病気のとき でも安心だから 40.8%	自然環境がよいか ら 36.7%

(4-2) 転出したい理由

◇「交通の便が悪いから」が37.9%

(問4で「2. よそへ移りたい」とお答えの方にお伺いします。)

問4-2 今お住まいの地域からよそへ移りたいと思う理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)



※調査方法の変更により前回調査までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

今の地域からよその地域へ移り住みたいと思う理由は、「交通の便が悪いから」(37.9%)が3割台半ばを超えて最も高く、次いで「愛着がないから」(27.7%)、「買い物に不便だから」(26.3%)、「通勤や仕事に不便だから」(25.5%)、「自然環境が悪いから」(16.8%)、「医療施設が身近になく、病気のときに心配だから」、「親、兄弟や親戚の近くに住みたいから」(各15.5%)、「土地柄や人情が自分に合わないから」(13.3%)、「道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから」(12.8%)、「学校、図書館などの教育・文化施設が整っていないから」(10.8%)、「治安や風紀が悪いから」(10.1%)などとなっている。

転出したい理由で高かった回答の上位10位と、前回（平成30年調査）の順位は次のようにになっている。

		今回	前回（平成30年調査）	増減差
1位	交通の便が悪いから	37.9%	37.9%（1位）	0.0
2位	愛着がないから	27.7	22.0（4位）	5.7
3位	買い物に不便だから	26.3	24.6（3位）	1.7
4位	通勤や仕事に不便だから	25.5	28.8（2位）	△3.3
5位	自然環境が悪いから	16.8	12.0（8位）	4.8
6位	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから	15.5	13.6（5位）	1.9
6位	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから	15.5	13.3（6位）	2.2
8位	土地柄や人情が自分に合わないから	13.3	12.3（7位）	1.0
9位	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから	12.8	10.0（9位）	2.8
10位	学校、図書館などの教育・文化施設が整っていないから	10.8	8.1（11位）	2.7

※調査方法の変更により前回調査までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

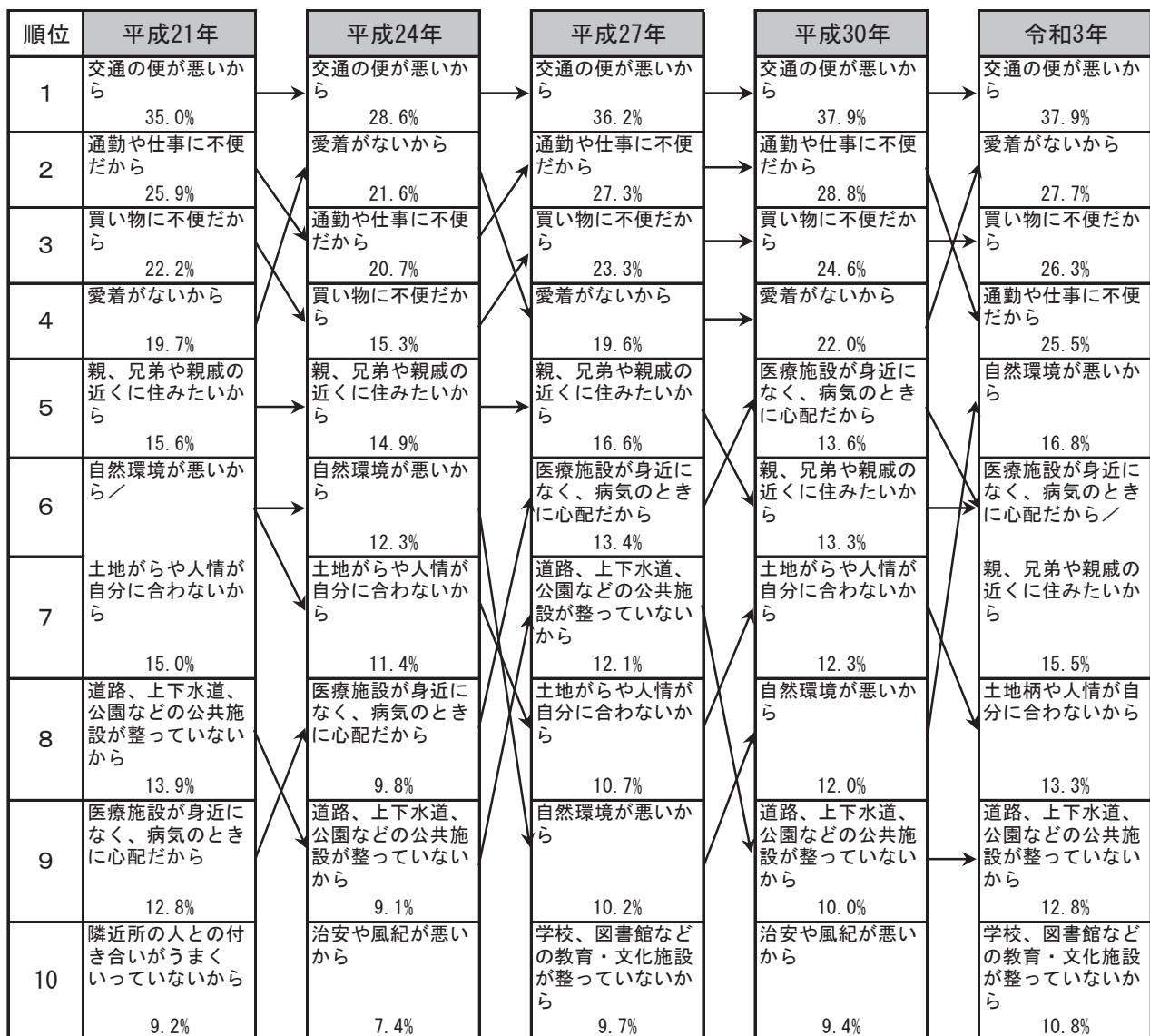
【平成30年調査との比較】

今回の上位10位と前回の平成30年調査を比較すると、「愛着がないから」が4位から2位に、「自然環境が悪いから」は8位から5位に順位を上げ、「学校、図書館などの教育、文化施設が整っていないから」が10位に入り込んでいる。一方、「通勤や仕事に不便だから」は2位から4位に順位を下げている。

前回との増減をみると、増加では「愛着がないから」が5.7ポイント増、「自然環境が悪いから」が4.8ポイント増とほとんどの項目で増加しているが、「通勤や仕事に不便だから」(3.3ポイント減)が上位10位のうち唯一減少となっている。

【平成21年以降の上位10位の推移】

平成21年以降の5回の調査の上位10位の推移をみると、「交通の便が悪いから」が5回連続で転出したい理由の1位となっている。2位の「愛着がないから」、3位の「買い物に不便だから」、4位の「通勤や仕事に不便だから」は順位の上下はあるものの、5回の調査すべてで2位から4位を維持している。「自然環境が悪いから」は平成21年・24年では6位だったが、平成27年9位、平成30年8位と順位を下げていたが今回は5位に上昇している。また、今回6位の「医療施設が身近になく、病気のときに心配だから」は平成21年9位、平成24年8位だったが、直近3回の調査では6位5位6位と上昇している。



【属性別比較】

① 地域別

1位は8地域で「交通の便が悪いから」となっている。また、南部地域では「買い物に不便だから」が同率1位、南西部地域では「自然環境が悪いから」、さいたま地域では「愛着がないから」となっている。2位は、東部、さいたま、北部の3地域で「通勤や仕事に不便だから」、川越比企、西部、利根の3地域で「買い物に不便だから」となっている。

※秩父地域（n=9）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

【属性別の上位5位】

■ 地域別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
南部地域 (n=47)	交通の便が悪いから／ 買い物に不便だから 25.5%		治安や風紀が悪いから／ 愛着がないから 23.4%		通勤や仕事に不便 だから 19.1%
南西部地域 (n=62)	自然環境が悪いから 29.0%	親、兄弟や親戚の 近くに住みたいから 25.8%	交通の便が悪いから／ 通勤や仕事に不便だから 22.6%		愛着がないから 17.7%
東部地域 (n=67)	交通の便が悪いから 32.8%	通勤や仕事に不便 だから 31.3%	愛着がないから 28.4%	買い物に不便だか ら 22.4%	治安や風紀が悪い から 14.9%
さいたま地域 (n=80)	愛着がないから 40.0%	通勤や仕事に不便 だから 35.0%	交通の便が悪いから 28.8%	買い物に不便だか ら 21.3%	自然環境が悪いから 20.0%
県央地域 (n=36)	交通の便が悪いから 50.0%	愛着がないから 36.1%	買い物に不便だか ら 27.8%	通勤や仕事に不便 だから 25.0%	自然環境が悪いから ／土地柄や人情 が自分に合わない から 19.4%
川越比企地域 (n=47)	交通の便が悪いから 51.1%	買い物に不便だか ら 27.7%	愛着がないから 23.4%	土地柄や人情が自 分に合わないから 21.3%	医療施設が身近に なく、病気のとき に心配だから 19.1%
西部地域 (n=46)	交通の便が悪いから 54.3%	買い物に不便だか ら 41.3%	愛着がないから 28.3%	通勤や仕事に不便 だから 21.7%	自然環境が悪いから ／親、兄弟や親 戚の近くに住みた いから 17.4%
利根地域 (n=48)	交通の便が悪いから 47.9%	買い物に不便だか ら 41.7%	医療施設が身近に なく、病気のとき に心配だから 33.3%	愛着がないから 29.2%	道路、上下水道、 公園などの公共施 設が整っていない から 27.1%
北部地域 (n=32)	交通の便が悪いから 37.5%	通勤や仕事に不便 だから 25.0%	愛着がないから 18.8%		医療施設が身近にな く、病気のとき に心配だから／買 い物に不便だから 15.6%
秩父地域 (n=9)	交通の便が悪いから 55.6%	通勤や仕事に不便だから／ 買い物に不便だから 44.4%			自然環境が悪いから ／親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 33.3%

② 性別

男性の上位3位は、「愛着がないから」、「交通の便が悪いから」、「通勤や仕事に不便だから」となっている。女性の上位3位は、「交通の便が悪いから」、「買い物に不便だから」、「愛着がないから」となっている。

■性別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (n=163)	愛着がないから 30.7%	交通の便が悪いから 30.1%	通勤や仕事に不便だから 27.0%	買い物に不便だから 19.0%	自然環境が悪いから 17.8%
女性 (n=311)	交通の便が悪いから 41.5%	買い物に不便だから 29.3%	愛着がないから 26.4%	通勤や仕事に不便だから 24.8%	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 18.6%

③ 年代別

1位は6つの年齢階層中4つの年齢階層で「交通の便が悪いから」と最も多く、10歳代・20歳代で「通勤や仕事に不便だから」、60歳代で「買い物に不便だから」となっている。2位は10歳代・20歳代と60歳代で「交通の便が悪いから」、30歳代と40歳代で「愛着がないから」などとなっている。

■年代別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18・19歳代 (n=16)	愛着がないから 43.8%	交通の便が悪いから 37.5%	学校、図書館などの教育・文化施設が整っていないから／道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから／土地柄や人情が自分に合わないから／買い物に不便だから 18.8%		
20歳代 (n=60)	通勤や仕事に不便だから 50.0%	交通の便が悪いから 35.0%	愛着がないから 31.7%	治安や風紀が悪いから 20.0%	買い物に不便だから 18.3%
【再掲】 10歳代・20歳代 (n=76)	通勤や仕事に不便だから 42.1%	交通の便が悪いから 35.5%	愛着がないから 34.2%	買い物に不便だから 18.4%	治安や風紀が悪いから 15.8%
30歳代 (n=73)	交通の便が悪いから 35.6%	愛着がないから 31.5%	買い物に不便だから 26.0%	通勤や仕事に不便だから 24.7%	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 17.8%
40歳代 (n=83)	交通の便が悪いから 32.5%	自然環境が悪いから／愛着がないから 27.7%		親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 26.5%	通勤や仕事に不便だから 20.5%
50歳代 (n=111)	交通の便が悪いから 38.7%	通勤や仕事に不便だから 33.3%	愛着がないから 29.7%	買い物に不便だから 27.9%	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから 18.9%
60歳代 (n=74)	買い物に不便だから 35.1%	交通の便が悪いから 33.8%	愛着がないから 25.7%	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから 23.0%	土地柄や人情が自分に合わないから 17.6%
70歳以上 (n=57)	交通の便が悪いから 54.4%	買い物に不便だから 33.3%	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから 28.1%	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 15.8%	学校、図書館などの教育・文化施設が整っていないから／土地柄や人情が自分に合わないから／愛着がないから 14.0%

④ 職業別

1位はいずれも「交通の便が悪いから」となっている。「愛着がないから」は自営業・家族従業（計）で2位、雇用者（計）と無職（計）で3位となっている。

■職業別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
自営業・家族従業（計） (n=33)	交通の便が悪いから 42.4%	愛着がないから 30.3%	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから／買い物に不便だから 24.2%	自然環境が悪いから／通勤や仕事に不便だから／親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 21.2%	
雇用者（計） (n=289)	交通の便が悪いから 36.3%	通勤や仕事に不便だから 30.1%	愛着がないから 28.0%	買い物に不便だから 24.9%	自然環境が悪いから 18.0%
無職（計） (n=153)	交通の便が悪いから 38.6%	買い物に不便だから 27.5%	愛着がないから 26.1%	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから 22.9%	通勤や仕事に不便だから 17.6%

⑤ 県内居住年数別

1位は10年末満で「愛着がないから」、10年以上で「交通の便が悪いから」と居住年数10年を境に差が見られる。2位は10年末満で「交通の便が悪いから」、10年～20年末満で「愛着がないから」、20年～30年末満では「通勤や仕事に不便だから」、30年以上では「買い物に不便だから」となっている。

■県内居住年数別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
5年未満 (n=55)	愛着がないから 49.1%	交通の便が悪いから 30.9%	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 29.1%	買い物に不便だから 25.5%	通勤や仕事に不便だから 23.6%
5年～10年未満 (n=36)	愛着がないから 44.4%	交通の便が悪いから／親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 33.3%		自然環境が悪いから 25.0%	通勤や仕事に不便だから 22.2%
10年～20年未満 (n=74)	交通の便が悪いから 35.1%	愛着がないから 28.4%	通勤や仕事に不便だから 25.7%	買い物に不便だから 21.6%	自然環境が悪いから 18.9%
20年～30年未満 (n=96)	交通の便が悪いから 41.7%	通勤や仕事に不便だから 37.5%	買い物に不便だから 25.0%	愛着がないから 17.7%	道路、上下水道、公園などの公共施設が整っていないから／治安や風紀が悪いから 15.6%
30年以上 (n=214)	交通の便が悪いから 38.8%	買い物に不便だから 29.0%	愛着がないから 23.8%	通勤や仕事に不便だから 21.0%	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから 18.2%

⑥ 居住形態別

1位は持家（計）で「交通の便が悪いから」（45.3%）、持家以外（計）で「愛着がないから」（33.1%）となっている。2位は持家（計）で「買い物に不便だから」（31.2%）、持家以外（計）で「親、兄弟や親戚の近くに住みたいから」（26.6%）となっている。3位はともに「通勤や仕事に不便だから」となっている。

持家（計）について、一戸建と分譲マンションなど集合住宅別に見ると、一戸建の1位は「交通の便が悪いから」（49.8%）、2位は「買い物に不便だから」（33.1%）、3位は「通勤や仕事に不便だから」（28.0%）の順となっているが、分譲マンションなど集合住宅では、「交通の便が悪いから」と「愛着がないから」（各24.1%）が同率で1位となっているのが特徴的である。次いで3位は「通勤や仕事に不便だから」と「買い物に不便だから」（各22.4%）が同率で続いているが、割合に大きな差は見られない。

*UR都市機構(旧公団)・公社・公営の賃貸住宅・アパート（n=27）と社宅・公務員住宅など給与住宅（n=20）についてはサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

■居住形態別

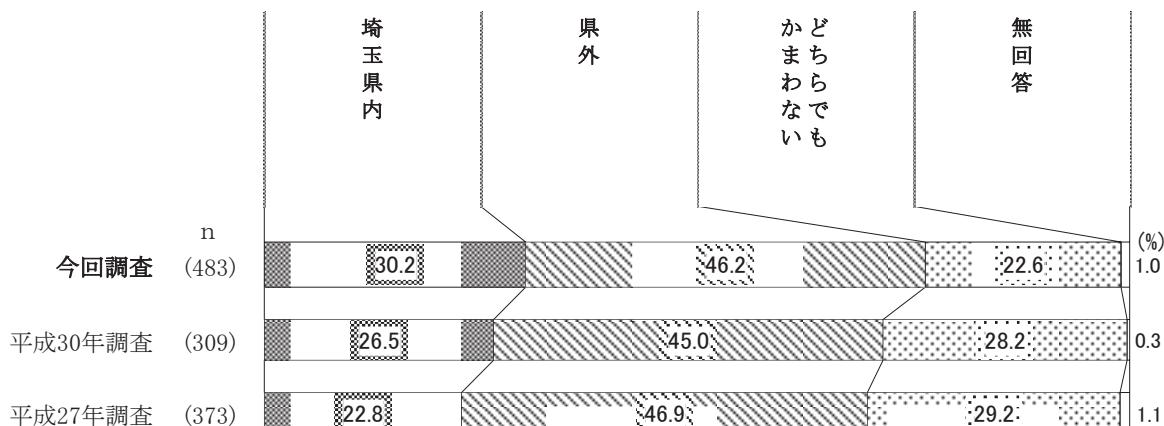
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
持家（計） (n=333)	交通の便が悪いから 45.3%	買い物に不便だから 31.2%	通勤や仕事に不便だから 27.0%	愛着がないから 25.2%	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから 17.7%
持家（一戸建） (n=275)	交通の便が悪いから 49.8%	買い物に不便だから 33.1%	通勤や仕事に不便だから 28.0%	愛着がないから 25.5%	医療施設が身近になく、病気のときに心配だから 18.5%
持家（分譲マンションなど集合住宅） (n=58)	交通の便が悪いから／ 愛着がないから 24.1%		通勤や仕事に不便だから／ 買い物に不便だから 22.4%		自然環境が悪いから 19.0%
持家以外（計） (n=139)	愛着がないから 33.1%	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 26.6%	通勤や仕事に不便だから 21.6%	交通の便が悪いから 20.1%	治安や風紀が悪いから 17.3%
民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など） (n=90)	愛着がないから 34.4%	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 24.4%	通勤や仕事に不便だから／ 治安や風紀が悪いから 22.2%		自然環境が悪いから／隣近所の人との付き合いがうまくいっていないから 15.6%
UR都市機構(旧公団)・公社・公営の賃貸住宅・アパート (n=27)	交通の便が悪いから 33.3%	愛着がないから 29.6%	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 25.9%	土地柄や人情が自分に合わないから 22.2%	通勤や仕事に不便だから 18.5%
社宅・公務員住宅など給与住宅 (n=20)	親、兄弟や親戚の近くに住みたいから 40.0%	愛着がないから 35.0%	交通の便が悪いから 30.0%	自然環境が悪いから 25.0%	通勤や仕事に不便だから 20.0%

(4-3) 転出先

◇「県外」が46.2%

(問4で「2. よそへ移りたい」とお答えの方にお伺いします。)

問4-3 よそへ移るとしたら、埼玉県内ですか。それとも県外ですか。(○は1つだけ)



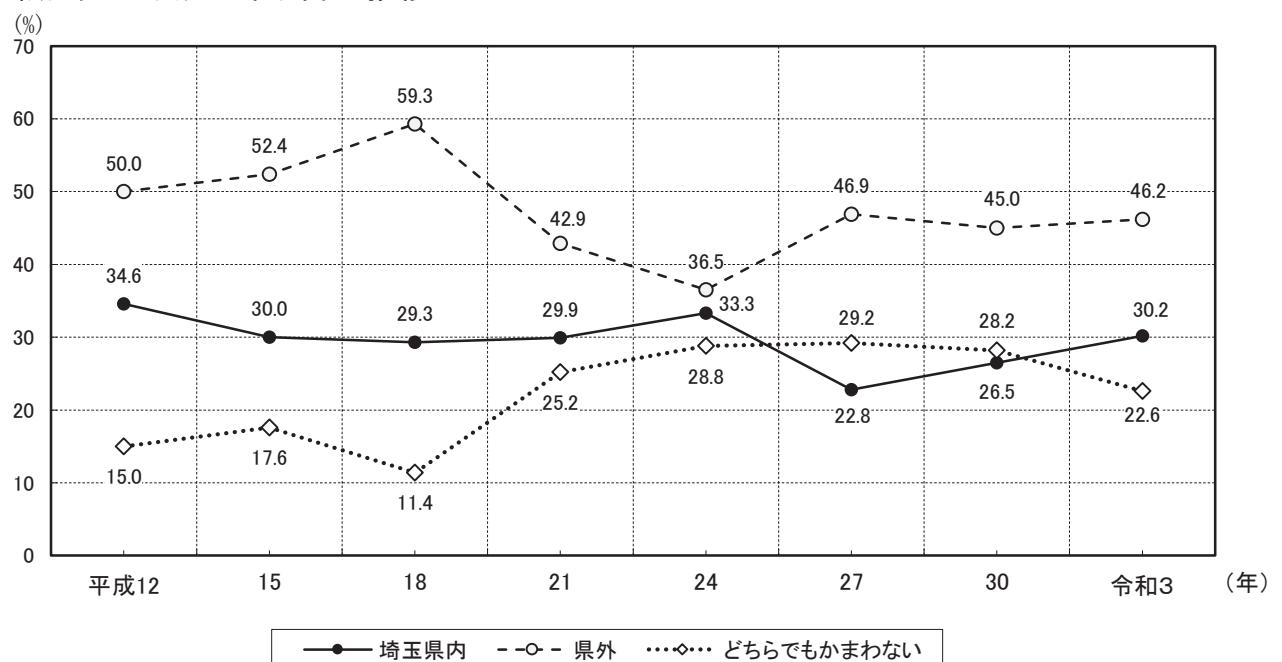
※調査方法の変更により前回調査までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

転出先は、「県外」(46.2%) が4割台半ばを超えて最も高く、次いで「埼玉県内」(30.2%)、「どちらでもかまわない」(22.6%) の順となっている。

【経年比較】

平成12年以降（3年毎）に実施した調査結果の推移をみると、「県外」は平成18年以降減少傾向であったが、平成27年調査以降は4割台半ばで推移している。「埼玉県内」は平成27年、平成30年調査で2割台に下がったが、今回の調査で再び3割台となった。

○転出先・平成12年以降の推移



【属性別比較】

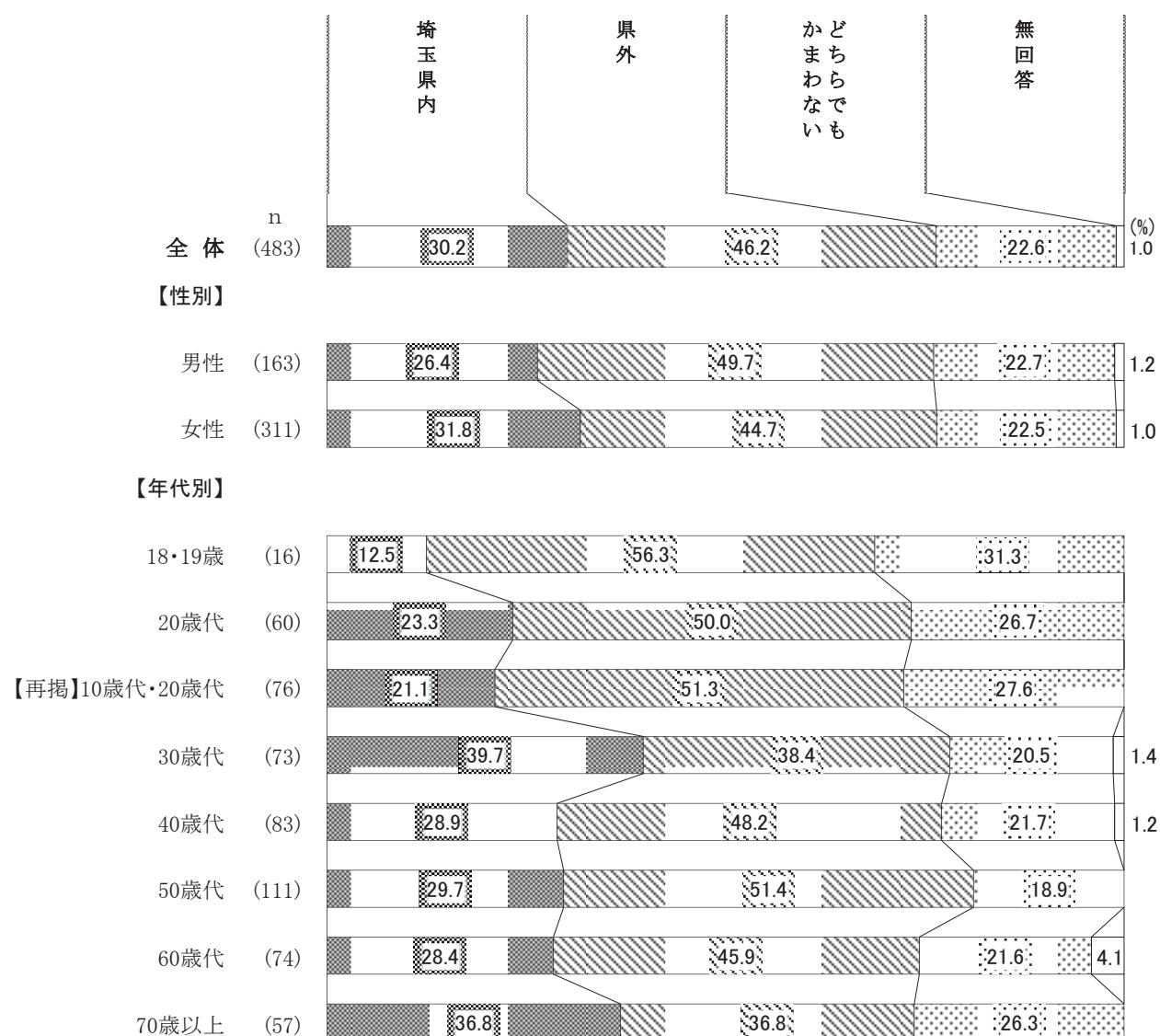
① 性別

「県外」は男性（49.7%）の方が女性（44.7%）よりも5.0ポイント、「埼玉県内」は女性（31.8%）の方が男性（26.4%）よりも5.4ポイント高くなっている。

② 年代別

「県外」は50歳代（51.4%）で最も高く、次いで10歳代・20歳代（51.3%）となっている。「埼玉県内」は30歳代（39.7%）で約4割と最も高く、次いで70歳以上（36.8%）となっている。

○転出先・性別／年代別



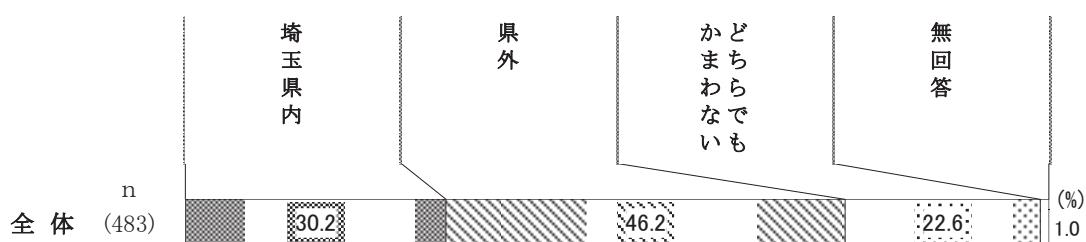
③ 出生地別

「埼玉県内」は埼玉県生まれの人（45.5%）の方が埼玉県外生まれの人（20.2%）よりも25.3ポイント高く、「県外」は埼玉県外生まれの人（54.4%）の方が埼玉県生まれの人（33.9%）よりも20.5ポイント高くなっている。

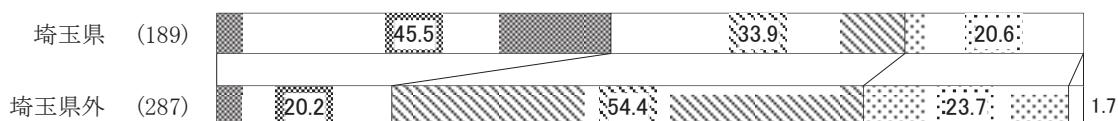
④ 居住形態別

「県外」は持家以外（計）（51.1%）の方が持家（計）（44.4%）よりも6.7ポイント高くなっている。

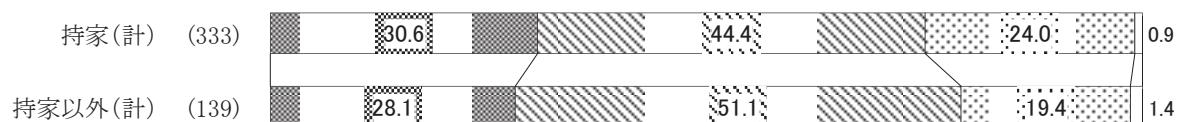
○転出先・出生地別／居住形態別



【出生地別】



【居住形態別】



⑤ 地域別

「県外」は南西部地域（56.5%）で5割台半ばを超えて最も高く、次いで南部地域（55.3%）となっている。「埼玉県内」は北部地域（43.8%）で4割強と最も高く、次いで川越比企地域（40.4%）となっている。

*秩父地域（n=9）はサンプル数が30に満たないため分析の対象から除外している。

⑥ 職業別

「埼玉県外」は自営業・家族従業（計）（57.6%）で5割台半ばを超えて最も高くなっている。

○転出先・地域別／職業別

	調査数 n	埼玉県内	埼玉県外	どちらでもかまわない	無回答	(%)
全 体	483	30.2	46.2	22.6	1.0	
地域別						
南部地域	47	23.4	55.3	19.1	2.1	
南西部地域	62	16.1	56.5	24.2	3.2	
東部地域	67	28.4	43.3	28.4	-	
さいたま地域	80	27.5	47.5	25.0	-	
県央地域	36	36.1	47.2	16.7	-	
川越比企地域	47	40.4	38.3	19.1	2.1	
西部地域	46	26.1	45.7	26.1	2.2	
利根地域	48	37.5	39.6	22.9	-	
北部地域	32	43.8	43.8	12.5	-	
秩父地域	9	55.6	22.2	22.2	-	
職業別						
自営業・家族従業（計）	33	36.4	57.6	6.1	-	
雇用者（計）	289	30.1	48.1	20.4	1.4	
無職（計）	153	29.4	40.5	29.4	0.7	

(4-3-1) 移り住みたい都道府県

◇「東京都」が37.2%

(問4-3で「2. 県外」とお答えの方にお伺いします。)

問4-3-1 県外へ移るとしたら、どこの都道府県へ移りたいですか。(○は1つだけ)

都道府県	今回調査	平成30年調査	増減差
東京都	37.2	54.0	-16.8
神奈川県	11.2	6.5	4.7
沖縄県	5.8	2.2	3.6
北海道	4.5	5.8	-1.3
群馬県	3.6	2.2	1.4
千葉県	3.6	5.0	-1.4
長野県	3.6	2.2	1.4
静岡県	3.1	0.7	2.4
秋田県	2.2	2.2	0
茨城県	2.2	0.7	1.5
福島県	1.8	-	1.8
愛知県	1.8	1.4	0.4
京都府	1.8	-	1.8
福岡県	1.8	-	1.8
栃木県	1.3	2.9	-1.6
兵庫県	1.3	0.7	0.6
奈良県	1.3	-	1.3
愛媛県	1.3	-	1.3
岩手県	0.9	0.7	0.2
山形県	0.9	0.7	0.2

都道府県	今回調査	平成30年調査	増減差
富山県	0.9	-	0.9
山梨県	0.9	1.4	-0.5
大阪府	0.9	-	0.9
香川県	0.9	-	0.9
宮城県	0.4	-	0.4
新潟県	0.4	0.7	-0.3
石川県	0.4	-	0.4
和歌山県	0.4	-	0.4
島根県	0.4	-	0.4
岡山県	0.4	-	0.4
佐賀県	0.4	-	0.4
宮崎県	0.4	-	0.4
青森県	-	0.7	-0.7
鳥取県	-	0.7	-0.7
長崎県	-	0.7	-0.7
熊本県	-	0.7	-0.7
海外*	-	1.4	-1.4
不明*	-	2.2	-2.2
無回答	1.3	3.6	-2.3

n=223 n=139

*前回、聞き取り調査で回答のあった「海外」、「不明」は今回の選択肢には設けていない。

*「福井県」、「岐阜県」、「三重県」、「滋賀県」、「広島県」、「山口県」、「徳島県」、「高知県」、「大分県」、「鹿児島県」は今回、前回ともに回答がないため表示していない。

※調査方法の変更により前回の結果と単純に時系列比較はできないことに留意

移りたい都道府県は、「東京都」(37.2%) が3割台半ばを超えて最も高く、次いで「神奈川県」(11.2%)、「沖縄県」(5.8%)、「北海道」(4.5%) などとなっている。

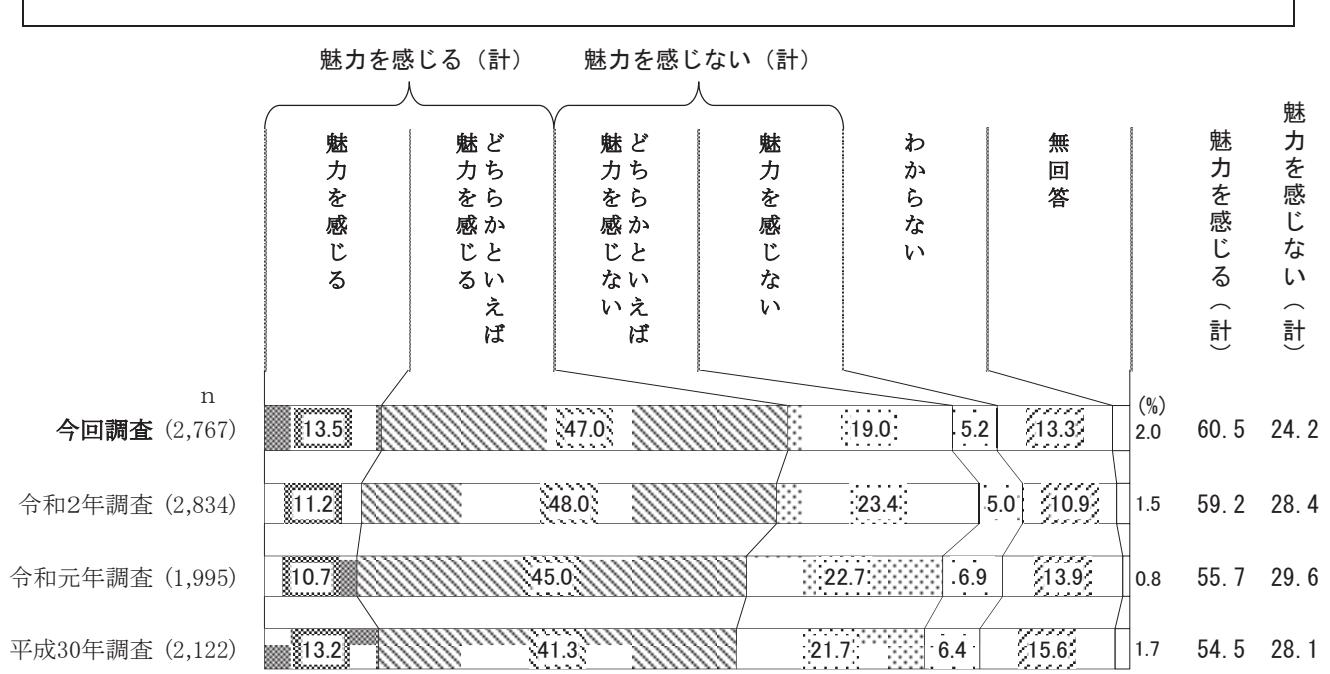
【過去調査との比較】

平成30年調査と比べると、東京都が16.8ポイント減少しているが、神奈川県(4.7ポイント増)、沖縄県(3.6ポイント増)、静岡県(2.4ポイント増)などで増加となっている。

(5) 埼玉県に魅力を感じるか

◇『魅力を感じる（計）』は60.5%、『魅力を感じない（計）』は24.2%

問5 あなたは、埼玉県に魅力を感じますか。（○は1つだけ）



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

埼玉県に魅力を感じるかについては、「どちらかといえば魅力を感じる」(47.0%) が4割台半ばを超えて最も多く、「魅力を感じる」(13.5%) と合わせた『魅力を感じる（計）』(60.5%) は6割を超えている。一方で、「魅力を感じない」(5.2%) と「どちらかといえば魅力を感じない」(19.0%) を合わせた『魅力を感じない（計）』(24.2%) は2割台半ばとなっており、『魅力を感じる（計）』が『魅力を感じない（計）』を36.3ポイント上回っている。

【過去調査との比較】

『魅力を感じる（計）』は平成30年調査 (54.5%) から増加傾向にあり、今回調査 (60.5%) で6割台となった。

【昨年と比べた暮らし向き別】

問1の昨年と比べた暮らし向き別にみると、埼玉県に『魅力を感じる（計）』と回答した割合は、楽になった（計）で73.2%と最も高くなっている。一方で、『魅力を感じない（計）』と回答した割合は、苦しくなった（計）で26.3%と最も高くなっている。

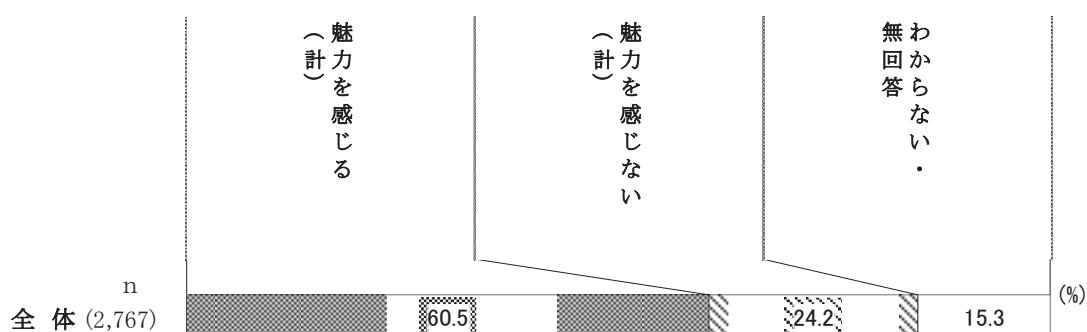
【生活程度別】

問2の生活程度別にみると、埼玉県に『魅力を感じる（計）』と回答した割合は、上（計）で80.3%と最も高くなっている。一方で、『魅力を感じない（計）』と回答した割合は、下（計）で29.7%と最も高くなっている。

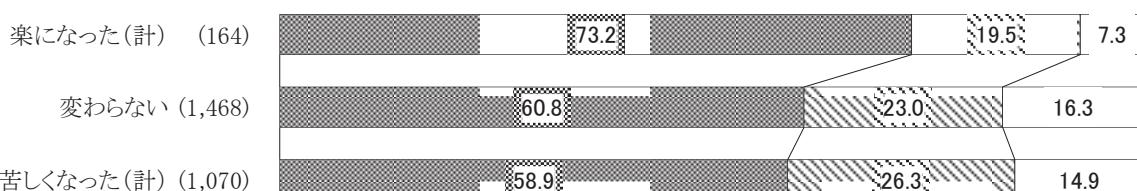
【生活満足度別】

問3の生活全体の満足度別にみると、埼玉県に『魅力を感じる（計）』と回答した割合は、満足している（計）(66.6%)の方が、不満である（計）(56.3%)より10.3ポイント高くなっている。

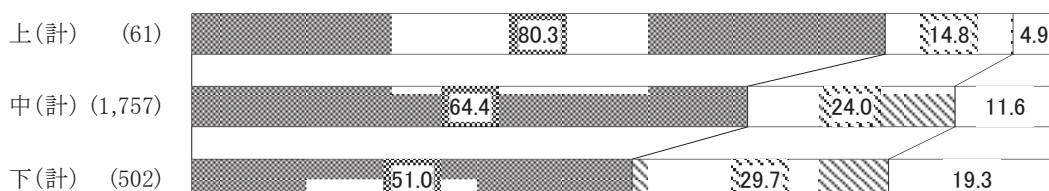
○埼玉県に魅力を感じるか・昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別／生活満足度別



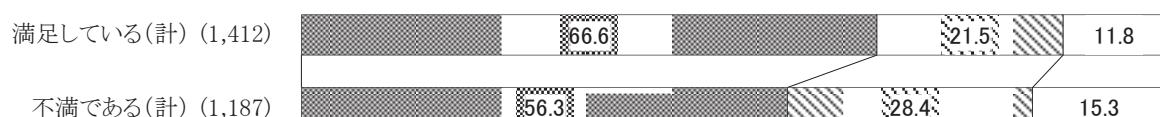
【昨年と比べた暮らし向き別】



【生活程度別】



【生活満足度別】



【属性別比較】

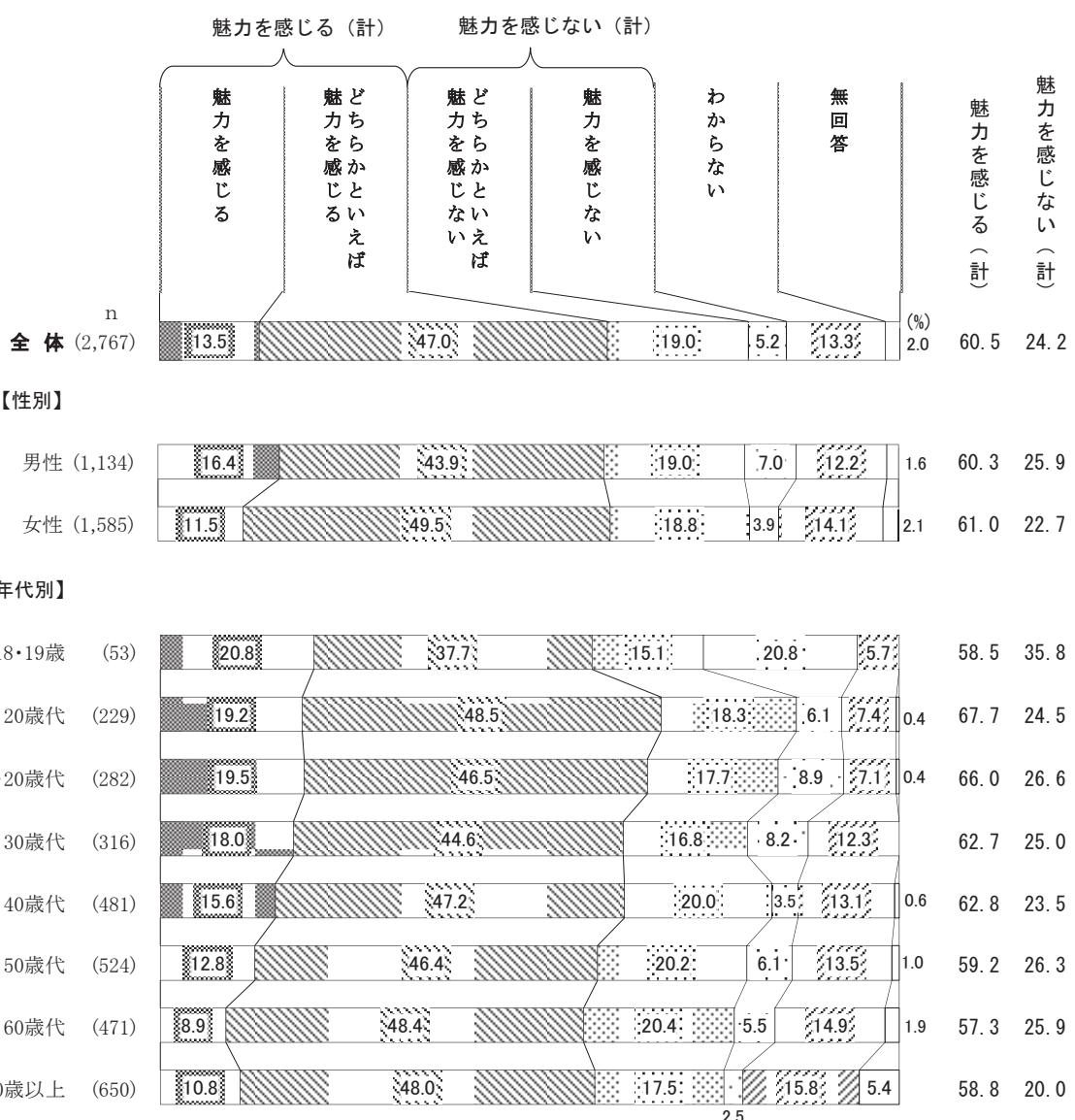
① 性別

『魅力を感じる（計）』は男性（60.3%）と女性（61.0%）はともに6割台前半と大きな差はない。

② 年代別

『魅力を感じる（計）』は10歳代・20歳代（66.0%）で6割台半ばを超えて最も高く、おおむね年齢が上がるにつれ割合が減少し、50歳代以上で5割台となっている。

○埼玉県に魅力を感じるか・性別／年代別



③ 地域別

『魅力を感じる（計）』は、さいたま地域（65.4%）で6割台半ばと最も高く、次いで西部地域（63.2%）となっている。一方で、『魅力を感じない（計）』は北部地域（29.1%）で約3割と最も高く、次いで東部地域（26.8%）となっている。

④ 性・年代別

『魅力を感じる（計）』は、女性10歳代・20歳代（66.7%）で6割台半ばを超えて最も高く、次いで男性10歳代・20歳代（65.5%）となっている。一方で、『魅力を感じない（計）』は男性50歳代（29.2%）で約3割と最も高く、次いで男性40歳代（27.2%）となっている。

⑤ 職業別

『魅力を感じる（計）』はすべて6割台となっており、自営業・家族従業（計）（63.2%）で6割強と最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

『魅力を感じる（計）』は家族形成期（69.3%）で約7割と最も高く、一方で、『魅力を感じない（計）』は家族成熟期（28.3%）で3割弱と最も高くなっている。

○埼玉県に魅力を感じるか・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

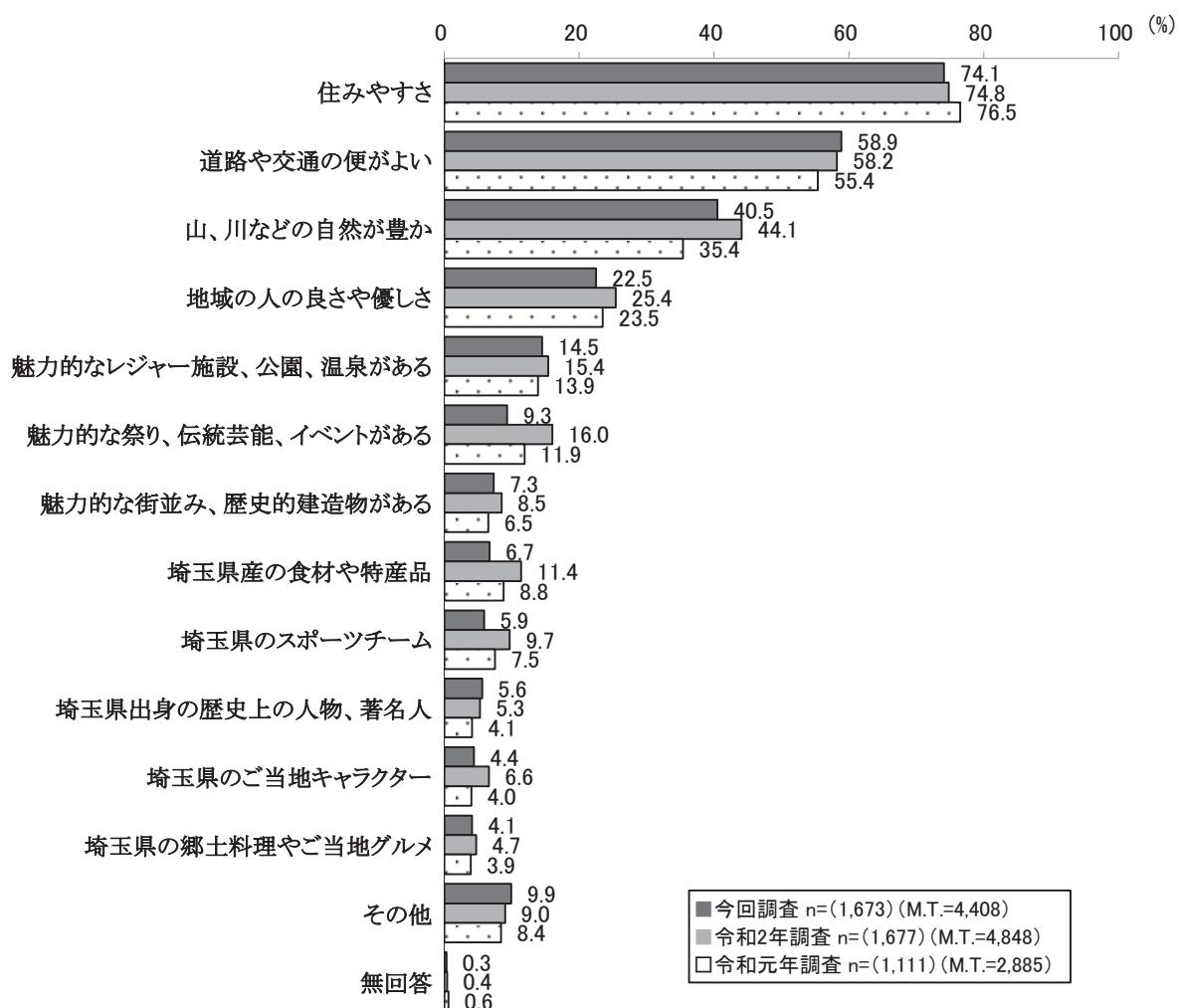
	調査数	魅 力 を 感 じ る	をど ちら か とい え ば 魅 力	をど ちら か とい え ば 魅 力	魅 力 を 感 じ な い	わ か ら な い	無 回 答	魅 力 を 感 じ る （ 計 ）	魅 力 を 感 じ な い （ 計 ）
全 体	2,767	13.5	47.0	19.0	5.2	13.3	2.0	60.5	24.2
地域別									
南部地域	268	10.8	49.6	18.7	6.7	10.8	3.4	60.4	25.4
南西部地域	259	13.9	42.5	20.8	5.0	15.8	1.9	56.4	25.9
東部地域	410	12.4	43.4	22.0	4.9	16.6	0.7	55.9	26.8
さいたま地域	482	17.2	48.1	16.2	5.8	10.4	2.3	65.4	22.0
県央地域	218	10.1	51.4	17.9	4.1	14.2	2.3	61.5	22.0
川越比企地域	293	15.7	46.1	15.7	6.8	13.0	2.7	61.8	22.5
西部地域	299	14.0	49.2	16.7	4.3	13.7	2.0	63.2	21.1
利根地域	245	9.8	48.6	20.4	4.9	15.1	1.2	58.4	25.3
北部地域	203	14.3	45.3	24.6	4.4	10.3	1.0	59.6	29.1
秩父地域	40	12.5	47.5	15.0	2.5	22.5	-	60.0	17.5
性・年代別									
男性／18・19歳	28	28.6	28.6	7.1	28.6	7.1	-	57.1	35.7
20歳代	91	23.1	45.1	14.3	8.8	7.7	1.1	68.1	23.1
【再掲】10歳代・20歳代	119	24.4	41.2	12.6	13.4	7.6	0.8	65.5	26.1
30歳代	111	27.0	36.9	18.0	6.3	11.7	-	64.0	24.3
40歳代	173	22.0	41.6	20.2	6.9	8.1	1.2	63.6	27.2
50歳代	226	16.4	44.7	20.4	8.8	9.3	0.4	61.1	29.2
60歳代	215	9.8	47.9	19.5	6.0	15.3	1.4	57.7	25.6
70歳以上	286	10.1	46.2	19.2	3.8	16.8	3.8	56.3	23.1
女性／18・19歳	25	12.0	48.0	24.0	12.0	4.0	-	60.0	36.0
20歳代	137	16.8	51.1	21.2	3.6	7.3	-	67.9	24.8
【再掲】10歳代・20歳代	162	16.0	50.6	21.6	4.9	6.8	-	66.7	26.5
30歳代	205	13.2	48.8	16.1	9.3	12.7	-	62.0	25.4
40歳代	308	12.0	50.3	19.8	1.6	15.9	0.3	62.3	21.4
50歳代	298	10.1	47.7	20.1	4.0	16.8	1.3	57.7	24.2
60歳代	255	8.2	48.6	21.2	5.1	14.5	2.4	56.9	26.3
70歳以上	352	11.6	50.6	15.6	1.4	14.5	6.3	62.2	17.0
職業別									
自営業・家族従業（計）	242	15.3	47.9	19.0	4.1	12.4	1.2	63.2	23.1
雇用者（計）	1,461	14.9	45.4	20.0	6.0	12.9	0.9	60.2	26.0
無職（計）	1,006	10.7	49.6	17.5	4.4	14.3	3.5	60.3	21.9
ライフステージ別									
独身期	327	17.4	45.9	16.5	8.9	11.0	0.3	63.3	25.4
家族形成期	215	24.2	45.1	16.3	7.0	7.4	-	69.3	23.3
家族成長前期	245	13.1	47.3	21.6	4.9	11.8	1.2	60.4	26.5
家族成長後期	232	12.1	52.2	13.8	6.0	14.2	1.7	64.2	19.8
家族成熟期	463	10.4	48.8	22.7	5.6	10.8	1.7	59.2	28.3
高齢期	609	10.3	49.9	18.7	2.3	15.6	3.1	60.3	21.0
その他	676	13.8	42.3	19.7	5.0	16.1	3.1	56.1	24.7

(5-1) 埼玉県で魅力を感じるもの

◇「住みやすさ」が74.1%で第1位、次いで「道路や交通の便がよい」が58.9%

(問5で「1. 魅力を感じる」または「2. どちらかといえば魅力を感じる」とお答えの方にお伺いします。)

問5-1 あなたが埼玉県で魅力を感じるものは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)



※調査方法の変更により令和元年度までの結果と単純に時系列比較はできないことに留意

埼玉県で魅力を感じものは、「住みやすさ」(74.1%) が7割台半ばと最も高く、次いで「道路や交通の便がよい」(58.9%)、「山、川などの自然が豊か」(40.5%)、「地域の人の良さや優しさ」(22.5%)、「魅力的なレジャー施設、公園、温泉がある」(14.5%)、「魅力的な祭り、伝統芸能、イベントがある」(9.3%) などとなっている。

【過去調査との比較】

令和2年調査と比べて、ほとんどの項目で割合が減少しており、「魅力的な祭り、伝統芸能、イベントがある」が6.7ポイント、「埼玉県産の食材や特産品」が4.7ポイントそれぞれ減少している。

【属性別比較】

① 地域別

「住みやすさ」はさいたま地域（81.3%）が8割強で最も高く、「道路や交通の便がよい」もさいたま地域（69.5%）が約7割で最も高くなっている。「山、川などの自然が豊か」は西部地域（68.8%）で7割弱と最も高く、「地域の人の良さや優しさ」は北部地域（31.4%）で3割強と最も高くなっている。

※秩父地域（n=24）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

② 性別

多くの項目で男性の方が女性より高く、特に「道路や交通の便が良い」は男性の方が8.6ポイント高くなっている。

③ 年代別

「住みやすさ」は10歳代・20歳代（81.2%）が8割強で最も高く、「道路や交通の便がよい」は40歳代（63.9%）で6割強と最も高くなっている。「山、川などの自然が豊か」と「地域の人の良さや優しさ」はおおむね年齢が上がるにつれ割合が高くなる傾向がみられ、ともに70歳以上で最も高い割合となっている。

④ 性・年代別

「住みやすさ」は女性10歳代・20歳代（83.3%）が8割強で最も高く、「道路や交通の便がよい」は男性40歳代（68.2%）で7割弱と最も高くなっている。「山、川などの自然が豊か」は男性70歳以上（50.9%）で5割を超えて最も高く、「地域の人の良さや優しさ」は女性70歳以上（39.3%）で約4割と最も高くなっている。

⑤ 職業別

「住みやすさ」と「道路や交通の便がよい」はともに雇用者（計）が最も高く、「地域の人の良さや優しさ」は自営業・家族従業（計）（36.6%）で3割台半ばを超えて最も高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「住みやすさ」は独身期と家族形成期（各79.2%）で約8割と最も高く、「道路や交通の便がよい」は独身期（64.3%）で6割台半ばと最も高くなっている。「山、川などの自然が豊か」と「地域の人の良さや優しさ」はともに高齢期で最も高くなっている。

